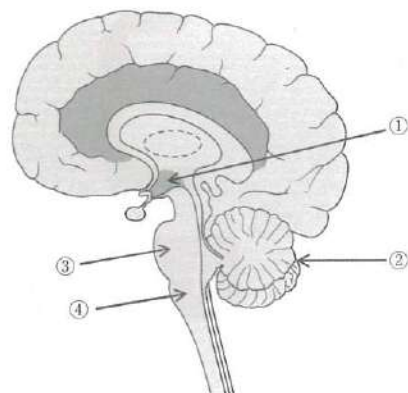


331

午後問題……… 解答・解説

[問題 1] 中枢神経を模式図に示す。



摂食中枢があるのはどれか。1つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶生理学

選択肢考察

- a ①は間脳を示す。間脳の視床下部は摂食、飲水、体温調節、ホルモン調節などの中枢である。  
× b ②は小脳で、平衡感覚、姿勢保持、随意運動の調節を支配する。  
× c ③は橋で、脳神経核と上行性(感覚性)・下行性(運動性)の伝導路が存在する。  
× d ④は延髄で、呼吸、循環、嚥下、咀嚼、嘔吐などの中枢が存在する。

正解 a

📖 要点集 331:P2

[問題 2] 頭蓋骨側面の写真(別冊午後 No. 1)を別に示す。

矢印の部位に停止するのはどれか。1つ選べ。

- a 咬筋  
b 側頭筋  
c 内側翼突筋  
d 外側翼突筋

▶解剖学

選択肢考察

- × a 咬筋は頬骨弓下縁から起始し、咬筋粗面に停止する。  
× b 側頭筋は側頭窩から起始し、筋突起に停止する。  
× c 内側翼突筋は蝶形骨翼状突起翼突窩から起始し、翼突筋粗面に停止する。  
○ d 外側翼突筋は蝶形骨翼状突起大翼または外側板から起始し、下顎頭の翼突筋窩に停止する。

No. 1



📖 要点集 331:P7

正解 d

要点

●咀嚼筋の起始と停止

咀嚼筋	起 始	停 止	機 能
咬筋	頬骨弓	咬筋粗面	閉口運動
側頭筋	側頭窩	筋突起	閉口運動、側方、後方運動
内側翼突筋	翼突窩	翼突筋粗面	閉口運動
外側翼突筋	上頭：蝶形骨大翼 下頭：翼状突起外側板	上頭：関節円板、関節包 下頭：翼突筋窩(下顎頭)	開口、前方、側方運動

[問題 3] グリコサミノグリカンはどれか。1つ選べ。

- a ムタン  
b グリコーゲン  
c グルタミン酸  
d ヒアルロン酸

▶生理学

選択肢考察

- × a ムタンはグルコースから合成される多糖類(不溶性糖)である。  
× b グリコーゲンは、グルコースが $\alpha$ -1,4グリコシド結合で重合した直鎖構造と、 $\alpha$ -1,6グリコシド結合によって枝分かれした構造が組み合わさったものであり、グルコースの貯蔵体である。  
× c グルタミン酸はアミノ酸の一種である。  
○ d グリコサミノグリカンは2種類の糖の繰り返し構造をもつ多糖体で、タンパクと結合してプロテオグリカンを形成する。グリコサミノグリカンには、ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸、デルマトン硫酸などがあり、皮膚の結合組織や関節滑液などに多く含まれる。

正解 d

〔問題 4〕 血液凝固を起こす血液成分はどれか。1つ選べ。

- a プラスミン
- b アルブミン
- c フィブリノゲン
- d エリスロポエチン

▶生理学

選択肢考察

- × a プラスミンはタンパク質分解酵素でフィブリンを分解する。
- × b アルブミンは血漿タンパク質で、浸透圧の維持や物質輸送に関与する。
- c フィブリノゲンは血液凝固の第Ⅰ因子である。
- × d エリスロポエチンは赤芽球から赤血球への分化を誘導するホルモンである。

正解 c

📖 要点集 331:P21

〔問題 5〕 歯の組織像(縦断研磨切片、カルボールフクシン染色)(別冊午後 No. 2)を別に示す。

矢印で示す構造はどれか。1つ選べ。

- a エブネル線
- b レチウス条
- c アンドレーゼン線
- d シュレーゲル線条

▶解剖学

選択肢考察

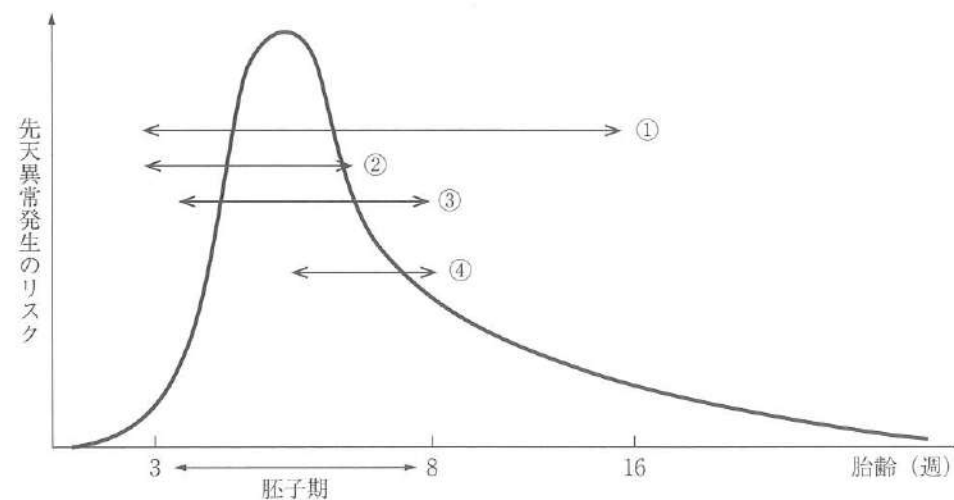
- × a、× c エブネル線は象牙細管に直交して走行する4 $\mu$ m間隔の象牙質の成長線である。アンドレーゼン線はエブネル線が5日毎に強調されたもの(20 $\mu$ m間隔)とされている。
- b 設問の組織像は縦断切片で、矢印はエナメル質にみられる弓状に走行する間隔が不規則な褐色線条を示しているため、レチウス条である。
- × d シュレーゲル線条は、縦断切片でエナメル小柱の走行の違い(横断面と縦断面の交差)により、観察される縞模様である。

正解 b

📖 要点集 331:P13



〔問題 6〕 中枢神経系、心臓、耳、歯の器官形成の時期と奇形の危険度との関係を図に示す。



歯はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

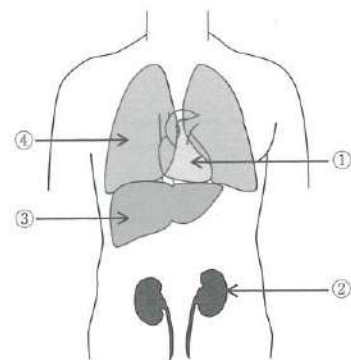
▶解剖学

選択肢考察

- × a ①は中枢神経系である。
- × b ②は心臓である。
- × c ③は耳である。
- d ④は歯である。第3週から8週までを胚子期といい、主要な器官・組織の分化と発生が起こる。この時期に何らかの刺激が加わると器官発生の障害となり、奇形の原因となる。

正解 d

[問題 7] 内臓の模式図を示す。



これらの臓器の中で最も多く熱を産生する器官はどれか。1つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶生理学

選択肢考察

- × a ①は心臓である。心筋の運動によって熱が産生されるが、最も多くはない。
- × b ②は腎臓である。血液中の老廃物の排泄や、体液の電解質の調整を行っている。熱産生の高い臓器ではない。
- c ③は肝臓である。肝臓はアルブミンや血液凝固因子などのタンパク質合成や、生体内代謝の主たる臓器であり、最も熱産生の高い臓器である。体温は、食物を体内で化学分解することにより発生する熱が主体となっている。このように発生した熱によって温められた血液が全身に循環することで体熱が維持されている。よって、生体内で代謝が最も盛んな臓器を選べばよい。
- × d ④は肺である。肺ではガス交換が行われるほか、呼吸運動により体温の発散を行っている。

正解 c

DH 24:P 46

[問題 8] 日本薬局方を公示するのはどれか。1つ選べ。

- a 厚生労働省  
b 日本保険薬局協会  
c 食品医薬品安全センター  
d 医薬品医療機器総合機構

▶薬理学

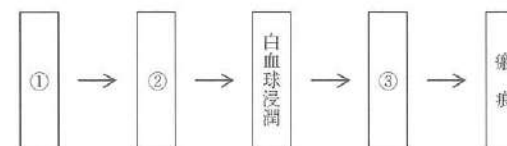
選択肢考察

- a 日本薬局方は、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」により、医薬品の性状及び品質の適正を図るため、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて定めた医薬品の規格基準書である。公示は厚生労働省が行う。
- × b 日本保険薬局協会は、国民の視点に立った保険薬局の育成、関連情報と業務の効率化及びそれらに付随する各種基盤整備等を行い、真に国民から信頼と満足が得られる保険薬局の実現に寄与することを目的としている。
- × c 食品医薬品安全センターという組織は存在しない。
- × d 医薬品医療機器総合機構は、医薬品の副作用や生物由来製品を介した感染等による健康被害に対して、迅速な救済を図り、医薬品や医療機器などの品質、有効性及び安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査し、市販後における安全性に関する情報の収集、分析、提供を行うことを通じて、国民保健の向上に貢献することを目的としている。

正解 a

要点集 331:P 57

[問題 9] 炎症の開始から終息までの過程を図に示す。



正しい組合せはどれか。1つ選べ。

- |   | ①    | ②    | ③    |
|---|------|------|------|
| a | 滲出   | 肉芽組織 | 血管拡張 |
| b | 血管拡張 | 滲出   | 肉芽組織 |
| c | 肉芽組織 | 滲出   | 血管拡張 |
| d | 肉芽組織 | 血管拡張 | 滲出   |

▶病理学

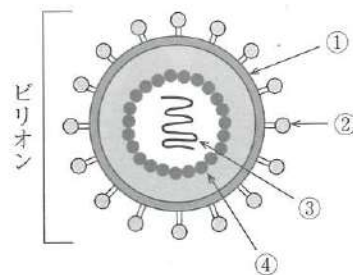
選択肢考察

- b 炎症反応の第1期では、ヒスタミンなどの炎症性ケミカルメディエーターが産生され、血管拡張と血管透過性亢進がみられる。続いて第2期へ移行し、白血球の遊走・粘着・浸潤が起こる。第3期で炎症反応は治癒へと向かい、線維芽細胞の増殖、血管新生、肉芽組織の形成が起こり瘢痕化する。炎症反応は、第1期(滲出期)→第2期(細胞浸潤期)→第3期(増殖期)の経過をたどる。

正解 b

要点集 331:P 44

[問題 10] ウイルスの模式図を示す。



消毒薬に対する抵抗性などに関与するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶微生物学

選択肢考察

- a ①はエンベロープである。エンベロープは脂質二重層からなる膜である。消毒薬に対する抵抗性などに関与する。
- × b ②はスパイクである。スパイクはエンベロープ上に存在する突起状の糖タンパク質で、ヒト細胞への付着や侵入に関与する。
- × c ③はウイルス核酸である。ウイルスはDNAかRNAどちらか一方の核酸をもつ。
- × d ④はカプシドである。カプシドはゲノムを包み、各種酵素(核酸分解酵素)からゲノムを保護する。

正解 a

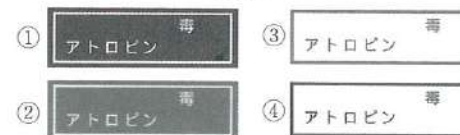
📖 要点集 331:P36

[問題 11] 写真(別冊午後 No. 3)を別に示す。毒薬の表示で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶薬理学

No. 3



選択肢考察

○ a ● 劇薬と毒薬の表記

	記載方法
毒薬	毒薬はその直接の容器または被包に、黒地に白枠、白字でその薬品名と「毒」の文字を記載しなければならない。また、その保管は劇薬や普通薬と区別し、鍵をかけて保管しなければならない。
劇薬	劇薬はその直接の容器または被包に、白地に赤枠、赤字でその薬品名と「劇」の文字を記載しなければならない。保管に施錠の義務はない。

正解 a

📖 要点集 331:P59

[問題 12] 口腔潜在的悪性疾患はどれか。1つ選べ。

- a 白板症
- b 黒毛舌
- c 手足口病
- d ヘルパンギーナ

▶病理学

選択肢考察

- a 白板症は口腔潜在的悪性疾患に含まれる。📖 要点 参照
- × b 黒毛舌は、抗菌薬の服用などから菌交代現象が生じた結果、伸張した舌の糸状乳頭に舌苔が付着し、色素産生性嫌気性菌が優勢となった状態である。口腔潜在的悪性疾患には含まれない。
- × c、× d 手足口病、ヘルパンギーナはコクサッキーウイルス A 群やエシテロウイルスなどによる感染症で、口腔粘膜に水疱がみられる。口腔潜在的悪性疾患には含まれない。

正解 a

📖 DH24:P482

要点

2017年改訂のWHO 頭頸部腫瘍分類(第4版)で、従来の口腔前癌病変(白板症、紅板症)と口腔前癌状態(鉄欠乏性嘔下困難、扁平苔癬、口腔粘膜下線維症、梅毒)の概念が統合されて、口腔潜在的悪性疾患(oral potentially malignant disorders)と改称された。白板症、紅白板症、紅板症、口腔粘膜下線維症、先天性角化異常症、無煙タバコ角化症、逆喫煙による口蓋角化症、慢性カンジダ症、扁平苔癬、円板状ループスエリテマトーデス、梅毒性舌炎、口唇の光線性角化症の12種類が含まれる。

[問題 13] 薬物と副作用の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a シスプラチン ————— 菌肉増殖症
- b ニフェジピン ————— 脱毛
- c アセトアミノフェン ————— 口腔乾燥症
- d ジクロフェナクナトリウム ——— 喘息発作

▶薬理学

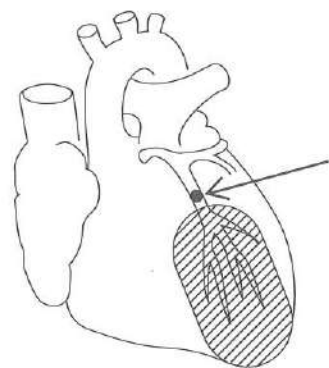
選択肢考察

- × a、× b シスプラチンは抗悪性腫瘍薬である。投与後2週間以降に脱毛などが現れる。薬物性菌肉増殖症は免疫抑制薬(シクロスポリン)、カルシウム拮抗薬(ニフェジピン)、抗てんかん薬(フェニトイン)などの副作用である。
- × c アセトアミノフェンは解熱鎮痛薬で、口腔乾燥症は主な副作用ではない。
- d 非ステロイド性抗炎症薬の副作用として喘息発作や胃腸障害がある。

正解 d

📖 要点集 331:P64

[問題 14] 心臓の冠状動脈の模式図を示す。矢印は血栓を示す。



斜線部の領域にみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 充血
- b 梗塞
- c 肥大
- d うっ血

▶病理学

選択肢考察

- × a 充血とは動脈血が局所に異常に増加した状態で、動脈特に細小動脈が拡張し、大量の動脈血が流入して起こるものである。
- b 梗塞とは終動脈が急激に閉塞されたときに、その動脈の灌流領域(下流の領域)に起こる壊死をいう。図の斜線部分である。図の矢印は冠状動脈の血栓を示しており、冠状動脈の閉塞によって、斜線部分の末梢組織が栄養供給を絶たれた状態である。
- × c 肥大とは生体の細胞、組織、器官の体積が増加することで、進行性病変に分類される。
- × d うっ血は静脈血が異常に増加した状態で、静脈の狭窄、血栓などによる閉塞、外からの圧迫などの通過障害により、静脈血が局所から流出することが妨げられたときに起こるものである。

正解 b

📖 要点集 331:P45

[問題 15] 急性壊死性潰瘍性歯肉炎の病変部から分離された細菌のグラム染色像(別冊午後 No. 4)を別に示す。

この細菌はどれか。1つ選べ。

- a *Prevotella intermedia*
- b *Actinomyces naeslundii*
- c *Fusobacterium nucleatum*
- d *Streptococcus salivarius*

▶微生物学

No. 4



選択肢考察

- × a *P. intermedia* はグラム陰性桿菌であるが、思春期性歯肉炎や妊娠性歯肉炎に多くみられる細菌である。
- × b *A. naeslundii* はグラム陽性桿菌であり、根面う蝕病巣に多くみられる。
- c *Fusobacterium nucleatum* は急性壊死性潰瘍性歯肉炎の原因菌で、グラム陰性桿菌である。また *Fusobacterium* は紡錘菌である。グラム染色法では陰性菌は赤色に、陽性菌は紫色に染色される。
- × d *S. salivarius* はグラム陽性桿菌であり、舌表面に多くみられる。

正解 c

📖 要点集 331:P36

[問題 16] 地域包括支援センターを設置するのはどれか。1つ選べ。

- a 国
- b 市町村
- c 都道府県
- d 福祉事務所

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- b 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指すのが「地域包括ケアシステム」である。「地域包括支援センター」は介護保険法に基づいて市区町村が設置できることとされている。

正解 b

📖 DH 24:P208

[問題 17] 出生時に石灰化を開始するのはどれか。1つ選べ。

- a 乳中切歯
- b 中切歯
- c 第一小白歯
- d 第一大白歯

▶口腔衛生学

選択肢考察

○d 要点 参照

正解 d

📖 DH24:P463

要点

●歯の形成時期

歯種	歯胚形成	石灰化開始	歯冠完成	歯根完成	
乳歯	乳中切歯	胎生7週	胎生4~4 $\frac{1}{2}$ か月	生後1 $\frac{1}{2}$ ~2 $\frac{1}{2}$ か月	生後1 $\frac{1}{2}$ 年
	乳側切歯	7	4 $\frac{1}{2}$	2 $\frac{1}{2}$ ~3	1 $\frac{1}{2}$ ~2
	乳犬歯	7 $\frac{1}{2}$	5	9	3 $\frac{1}{4}$
	第一乳白歯	8	5	5 $\frac{1}{2}$ ~6	2 $\frac{1}{2}$
	第二乳白歯	10	6	10~11	3
永久歯	第一大白歯	胎生3 $\frac{1}{2}$ ~4か月	出生時	2 $\frac{1}{2}$ ~3年	9~10年
	中切歯	5~5 $\frac{1}{4}$	生後3~4か月	4~5	9~10
	側切歯	5~5 $\frac{1}{2}$	上顎:10~12 下顎:3~4	4~5	10~11
	犬歯	5 $\frac{1}{2}$ ~6	4~5	6~7	12~15
	第一小白歯	出生時	1 $\frac{1}{2}$ ~2年	5~6	12~13
	第二小白歯	生後7 $\frac{1}{2}$ ~8か月	2~2 $\frac{1}{2}$	6~7	12~14
	第二大白歯	8 $\frac{1}{2}$ ~9	2 $\frac{1}{2}$ ~3	7~8	14~16
第三大白歯	3 $\frac{1}{2}$ ~4年	7~10	12~16	18~25	

(Schour, Massler, 1940.)

[問題 18] プラーク1g(湿重量)あたりの細菌数はどれか。1つ選べ。

- a 1.0~2.5 × 10<sup>9</sup> 個
- b 1.0~2.5 × 10<sup>10</sup> 個
- c 1.0~2.5 × 10<sup>11</sup> 個
- d 1.0~2.5 × 10<sup>12</sup> 個

▶口腔衛生学

選択肢考察

○c プラークは湿重量1gあたり1.0~2.5 × 10<sup>11</sup> 個の細菌を含んでおり、容積の約70%は細菌細胞である。

正解 c

📖 要点集331:P39

[問題 19] 知覚過敏予防を目的として歯磨剤に含まれる薬用成分はどれか。2つ選べ。

- a 硝酸カリウム
- b 乳酸アルミニウム
- c グリチルリチン酸
- d デキストラナーゼ

▶口腔衛生学

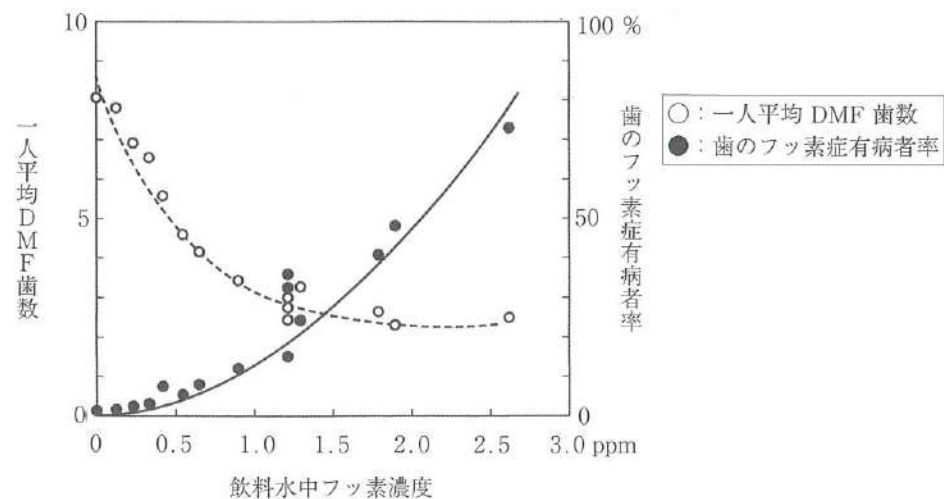
選択肢考察

- a、○b 硝酸カリウム、乳酸アルミニウムは知覚過敏予防を目的として歯磨剤に含まれる。
- ×c グリチルリチン酸は抗炎症作用を有し、歯周病目的に歯磨剤に含まれる。
- ×d デキストラナーゼはプラークの分解、形成抑制作用を有し、う蝕・歯周病予防を目的に歯磨剤に含まれる。

正解 a、b

📖 DH24:P136

【問題 20】 地域の飲料水中フッ化物濃度に対するう蝕と歯のフッ素症の有病者率との関係を調べた研究結果を図に示す。



この研究方法はどれか。1つ選べ。

- a 縦断研究
- b 記述疫学研究
- c 臨床疫学研究
- d 介入疫学研究

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 縦断研究とは特定の対象者を経時的に追跡したり、過去にさかのぼって調べる研究方法である。
- b 図では集団の有病状況と因子（飲料水中フッ素濃度）との関係を観察した結果を示している。記述疫学研究は、集団の健康に関わる事象を観察することによって要因を検討し、仮説の設定を行う。
- × c 臨床疫学研究とは疫学研究のうち臨床データを取り扱うものをいう。
- × d 介入疫学研究では推定された要因を変化させたり、除去したりしてその要因の寄与を調べる。

正解 b

DH 24:P 240

【問題 21】 市町村が実施している歯周疾患検診の根拠法はどれか。1つ選べ。

- a 医療法
- b 地域保健法
- c 健康増進法
- d 高齢者の医療の確保に関する法律

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 医療法は病院開設、診療所の開設、閉鎖等の届け出、病院給食施設などの設置義務、医療従事者の配置と確保、医療機関の広告、医療圏などの医療体制と、医療におけるインフォームドコンセントについて規定した法律である。市町村が実施している歯周疾患検診の根拠法ではない。
- × b 地域保健法は、少子高齢化、疾病構造の変化、需要の多様化を背景とし、地域住民の立場を重視した地域保健を実現するために、旧保健所法を改正して制定された法律である。都道府県と市町村の役割が見直され、乳幼児健診や妊産婦指導などの母子保健サービスや老人保健サービスの実施主体を両方とも市町村とし、住民に身近なサービスの一元的な提供が可能となった。
- c 健康増進法は、生活習慣病を防ぐための栄養改善という視点だけでなく、運動、飲酒、喫煙などの生活習慣の改善を通じた健康増進の概念を取り入れ、健康日本 21 を推進するとともに、健康づくりや疾病予防に重点を置いた施策推進のための法的基盤となっている。市町村が実施している歯周疾患検診の根拠法になっている。
- × d 高齢者の医療の確保に関する法律は高齢者の福祉の増進を図ることを目的として制定された法律である。

正解 c

DH 24:P 217

要点

- 健康増進法で規定される保健事業
  - ・ 歯周疾患検診
  - ・ 骨粗鬆症検診
  - ・ 肝炎ウイルス検診
  - ・ 健康手帳の交付
  - ・ 健康教育
  - ・ 健康相談
  - ・ 機能訓練
  - ・ 訪問指導
  - ・ がん検診

[問題 22] う蝕の第一次予防に適切なのはどれか。2つ選べ。

- a フッ化ナトリウム
- b フルオロアパタイト
- c フッ化ジアンミン銀
- d モノフルオロリン酸ナトリウム

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a フッ化ナトリウムは歯面塗布法や洗口法に用いられる。
- × b フルオロアパタイト (Ca<sub>10</sub>(PO<sub>4</sub>)<sub>6</sub>F<sub>2</sub>)は、フッ化物応用によってエナメル質のハイドロキシアパタイトが反応して、歯質が強化されたものである。う蝕の第一次予防に用いられるものではない。
- × c フッ化ジアンミン銀は乳歯の初期齲蝕に対する進行抑制に用いられるものであり、第二次予防の早期発見、早期治療にあたる。
- d モノフルオロリン酸ナトリウムはフッ化物配合歯磨剤に含まれ、う蝕の特異的予防に用いられる。

正解 a、d

DH24:P148

[問題 23] ある疾病の臨床検査の結果と最終診断との関係を表に示す。

		最終診断	
		疾病あり	疾病なし
臨床検査結果	陽性	18名	20名
	陰性	2名	60名

この臨床検査の特異度はどれか。1つ選べ。

- a 0.47
- b 0.75
- c 0.78
- d 0.90

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- b 特異度とは臨床検査の性格を決める指標の1つで、ある検査について「陰性のものを正しく陰性と判定する確率」として定義される値である。

特異度は  $\frac{60}{20 + 60} = 0.75$  と求められる。

正解 b

DH24:P239

[問題 24] 歯科口腔保健の推進に関する法律で規定される口腔保健支援センターの業務はどれか。1つ選べ。

- a 夜間の応急処置
- b 要介護者への訪問歯科診療
- c 地域住民に対する歯科検診
- d 歯科衛生士に対する情報提供

▶口腔衛生学

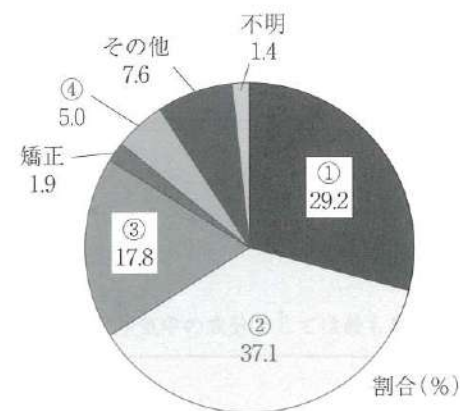
選択肢考察

- d 「歯科口腔保健の推進に関する法律」第15条では、都道府県、保健所を設置する市および特別区は、口腔保健支援センターを設けることができるとし、口腔保健支援センターは、歯科医療等業務に従事する者(歯科医師、歯科衛生士)等に対する情報の提供、研修の実施その他の支援を行う機関とすると規定されている。

正解 d

DH24:P158

[問題 25] 永久歯の抜歯原因調査の結果(2018年第2回永久歯の抜歯原因調査報告書)の図を示す。



歯を失う理由、公財)8020推進財団、第2回永久歯の抜歯原因調査(2018年)

①はどれか。1つ選べ。

- a 破折
- b う蝕
- c 歯周病
- d 埋伏歯

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 破折は③で抜歯原因の第3位ある。
- b う蝕は①で抜歯原因の第2位である。
- × c 歯周病は②で抜歯原因の第1位である。
- × d 埋伏歯は④で抜歯原因の第4位である。

正解 b

DH24:P157

[問題 26] 3歳児歯科健康診査で虐待が疑われる児を発見した際の通告先はどれか。2つ選べ。

- a 保健所
- b 福祉事務所
- c 児童相談所
- d 市町村保健センター

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- b、c 児童虐待の防止等に関する法律第6条に「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない」と規定されている。

正解 b、c

DH24:P215

要点

児童虐待は「児童虐待の防止等に関する法律」で、「保護者(親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護するものをいう)がその監護する児童(18歳に満たない者)に対し、次に掲げる行為をすること」と定義されている(第2条)。列記されている行為は、①身体的虐待、②性的虐待、③ネグレクト(育児放棄、監護放棄)、④心理的虐待である。また、第3条では「何人も児童に対し虐待をしてはならない。」と規定している。

[問題 27] 我が国が該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 高齢社会
- b 高齢化社会
- c 超高齢社会
- d 超高齢化社会

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- c 65歳以上の人口が総人口に占める割合が7%以上の社会を「高齢化社会」という。14%以上では「高齢社会」、21%以上では超高齢社会といい、令和3年10月1日時点で28.9%であり超高齢社会である。

正解 c

DH24:P224

[問題 28] 「ある年齢(X歳)の人がX歳以後生存すると期待される年数の平均を年齢X歳の平均余命という。このうち、①歳の平均余命を平均寿命という。」

①はどれか。1つ選べ。

- a 0
- b 1
- c 20
- d 60

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 0歳の平均余命を平均寿命という。

正解 a

[問題 29] 空気中の窒素濃度はどれか。1つ選べ。

- a 約0.04%
- b 約21%
- c 約45%
- d 約78%

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- ×a 空気中の二酸化炭素濃度は約0.04%である。
- ×b 空気中の酸素濃度は約21%である。
- ×c 空気中の45%を占める気体はない。
- d 空気中の窒素濃度は約78%で、空気中の成分としては最も多い。

正解 d

DH24:P165

[問題 30] 手用歯ブラシの交換時期の日安で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 2週間
- b 1か月
- c 3か月
- d 4か月

▶口腔衛生学

選択肢考察

- b 手用歯ブラシは1か月を目安に交換する。刷毛部の後ろが見える状態になったら交換が必要であるが、刷毛部の状態が変化する前に交換することが大切である。

正解 b

[問題 31] スタンダードプレコーションで感染性物質として扱わないのはどれか。1つ選べ。

- a 汗
- b 涙
- c 喀痰
- d 唾液

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

× a スタンダードプレコーション(標準予防策)では、全ての患者の「血液・汗を除く体液・喀痰・便・尿・膿・粘膜・傷のある皮膚」を感染の可能性があるものとして取り扱うとし、これらに触れる可能性がある場合には、手指衛生及び个人防护具(手袋・マスク・ガウン・ゴーグル又はフェイスシールド)を着用することとしている。

正解 a

DH 24:P 769

[問題 32] 傾聴の姿勢として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 患者の話にうなづく。
- b 患者の表情に注目する。
- c 患者との会話の前に答えを用意する。
- d 患者の話の途中で自分の意見を言う。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a 患者が話した語尾を繰り返したり、うなづいたりすることは、話を促進させるよい方法である。患者との信頼関係を得る(ラポールの形成)ためには、患者の不安・不満や表情・行動に対して適切に対応することが必要である。患者の話をよく聴くこと(傾聴)は大切であり、言葉を遮らずによく聴いていれば、主訴に隠された感情や本音などが垣間見えることもある。
- b 傾聴は患者の話に耳を傾けるだけではなく、表情の変化に注目しながら行う。
- × c 良好なコミュニケーションの基本は、相手に話をさせることであり、事前に答えを用意するものではない。
- × d 患者の話を遮り、話の途中で自分の意見を挟むことは、傾聴の姿勢としては好ましくない。

正解 a, b

DH 24:P 254

[問題 33] アルマ・アタ宣言で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 地域活動の強化
- b 健康的な公共政策づくり
- c 健康は生きる目的ではなく生活の資源である。
- d スローガンは「すべての人びとに健康を」である。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

× a、× b、× c オタワ憲章で提唱されたヘルスプロモーションの基本的理念である。  
○ d 「すべての人びとに健康を」はアルマ・アタ宣言のスローガンである。それを達成するための手段としてプライマリヘルスケアを位置づけた。

正解 d

DH 24:P 175

[問題 34] 35歳の女性。上顎左側小白歯部の鈍痛を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 5 A)とエックス線画像(別冊午後 No. 5 B)を別に示す。

処置方針の決定で重要な検査はどれか。2つ選べ。

- a 打診
- b 擦過診
- c 歯髄電気診
- d 動揺度検査

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- a 打診は、炎症が歯根膜腔に波及しているか否かの判定に必要である。
- × b 露髄が強く疑われる状況であり、擦過診の必要はない。
- c 歯髄電気診は歯髄の生死判定に必須で、本症例でも必要である。
- × d 動揺は主訴にもなく、エックス線画像でも歯槽硬線(白線)が明瞭に確認できる状態であり、動揺度検査は必要ない。

No. 5 A



B



正解 a, c

DH 24:P 416

[問題 35] 80歳の女性。咀嚼困難を主訴として来院した。最近、食物の摂取が困難となり、食事に時間がかかるようになったという。実施したある検査の基準値と計測値を表に示す。

	[pa]	[ta]	[ka]
基準値(回/sec)	6.1	6.1	5.6
計測値(回/sec)	4.8	6.5	6.3

この検査から評価できるのはどれか。1つ選べ。

- a 唾液分泌能
- b 気道防御能
- c 口腔清掃の自立度
- d 舌と口唇の運動機能

▶ 臨床歯科総論

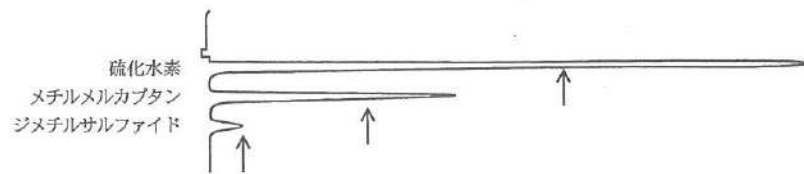
選択肢考察

- × a オーラルディアドコネシスは唾液分泌能を評価するものではない。
- × b 気道防御能の評価とは、誤嚥の有無を評価することである。誤嚥を評価できる検査には咳テスト、頸部聴診法、嚥下造影検査などがある。
- × c 口腔清掃の自立度判定基準にはBDR指標がある。BDR指標の評価項目はB: brushing(歯磨き)、D: denture wearing(義歯着脱) R: mouth rinsing(うがい)である。この3項目を調べ、自立、一部介助、全介助の3段階で評価する。
- d オーラルディアドコネシスは口腔機能の衰えであるオーラルフレイルを評価する方法であり、舌や口唇の運動機能を評価することができる。

正解 d

DH 24:P 540

【問題 36】 ある検査結果の図を示す。



行った検査法はどれか。1つ選べ。

- a PCR 検査
- b 電気泳動法
- c スパイログラム
- d ガスクロマトグラフィー

▶臨床歯科総論

選択肢考察

- × a PCR (Polymerase Chain Reaction) 検査は目的となる病原微生物の遺伝子を、DNA ポリメラーゼという酵素で増幅し検出する方法である。歯頸部のプラーク付着の有無を評価する、O'Leary の PCR (Plaque Control Record) と混同しないこと。
- × b コロイド溶液に直流電圧をかけると、正 (+) に帯電したコロイド粒子が陰極に、負 (-) に帯電したコロイド粒子が陽極に移動する。この現象を電気泳動という。
- × c スパイロメーター (呼吸機能検査装置) を用いて、安静時の呼吸と努力時の呼吸を波形として描いたものをスパイログラム (肺気量分画) という。
- d ガスクロマトグラフィーは気体中の各成分を検査するもので、口臭検査に用いる。呼気中に含まれる硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイドといった揮発性硫黄化合物 (VSC) の濃度を測定する。

正解 d

DH24:P693

【問題 37】 う蝕部位と検査法との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 前歯隣接面 —— 透照診
- b 白歯隣接面 —— 歯髄電気診
- c 咬合面 —— レーザー光による検査
- d 歯頸部 —— 咬合法エックス線検査

▶臨床歯科総論

選択肢考察

- a 前歯部の隣接面に関しては透照診を用いる。ほかに亀裂の確認のためにも用いられる。
- × b 白歯隣接面にはデンタルフロス、咬翼法エックス線撮影、歯間分離を用いる。歯髄電気診は歯髄の生死を判定する検査法である。
- c レーザーから発せられた光が歯質に作用し、変調した歯質を検知する検査機器 (ダイアグノデント®) がある。
- × d 歯頸部の検査は視診が主である。場合によっては歯肉圧排を行って補助とする。

正解 a, c

【問題 38】 55歳の男性。下顎左側第一大臼歯の咬合痛を主訴として来院した。慢性化膿性根尖性歯周炎と診断され、感染根管治療を行うことになった。クラウンと支台築造体除去後の口腔内写真 (別冊午後 No. 6 A) とある処置後の口腔内写真 (別冊午後 No. 6 B) を別に示す。

矢印で示す部分の目的はどれか。2つ選べ。

- a 歯間分離
- b 封鎖性の確保
- c 術野の汚染防止
- d 辺縁歯肉の排除

▶保存修復学

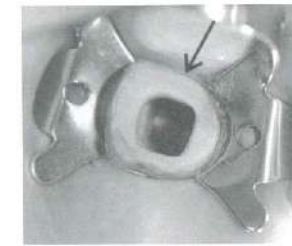
選択肢考察

- × a 歯間分離にはセパレーターやウェッジを用いる。
- b、○ c 感染根管治療ではラバーダム防湿が必要となるが、写真 A の状態ではラバーダム装着は不可能である。歯冠崩壊が大きくクランプがかけられない、または装着できても隙間から唾液が混入する場合、コンポジットレジンで歯冠部の暫時的修復 (隔壁形成) を行う。矢印が示す隔壁形成によりラバーダム装着が可能となり、防湿性と封鎖性が確保され、術野の汚染が防止できる。
- × d 辺縁歯肉の排除はラバーダムクランプの役割である。

No. 6 A



B



正解 b, c

DH24:P293

【問題 39】 30歳の男性。下顎左側臼歯部の冷水痛を主訴として来院した。[5] の遠心部に食片が滞留するという。自発痛はなく [5] は一過性の冷水痛を示す。間接覆髄法を行うことになった。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No. 7 A) とエックス線画像 (別冊午後 No. 7 B) を別に示す。

治療に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a MTA セメント
- b 水酸化カルシウム製剤
- c 次亜塩素酸ナトリウム
- d 酸化亜鉛ユーージノールセメント

▶歯内療法学

選択肢考察

- × a MTA セメントには硬組織形成作用があり、直接覆髄法、生活歯髄切断法、逆根管充填、髓床底穿孔における穿孔部閉鎖などに用いる。
- b、○ d 水酸化カルシウム製剤は修復象牙質の形成促進を目的に、酸化亜鉛ユーージノールセメントは歯髄鎮痛消炎剤として間接覆髄法に用いる。
- × c 次亜塩素酸ナトリウムは根管治療における根管洗浄薬として用いる。

No. 7 A



B



正解 b, d

【問題 40】 50歳の女性。慢性歯周炎と診断し、歯周基本治療を行った。再評価後の残存ポケットに薬剤を適用した。使用した薬剤(別冊午後 No. 8 A)と適用中の口腔内写真(別冊午後 No. 8 B)を別に示す。

この薬剤の特徴どれか。2つ選べ。

- a SPT で用いられる。
- b 歯周基本治療の1つである。
- c 歯周組織の再生に有効である。
- d ペニシリン系の抗菌薬である。

選択肢考察

○ a、○ b 写真は局所薬物配送システム(LDDS)を示す。LDDSは歯周基本治療の1つで、歯周ポケットに徐放性の抗菌薬を直接注入し作用させる。スケーリング・ルートプレーニング後も深いポケットが残存している場合や、急性歯周膿瘍などの症状改善に用いる。歯周基本治療終了後に深い歯周ポケットが残存する症例に行うこともあるため、LDDSはSPT(supportive periodontal therapy)にも含まれる。SPTは、歯周治療後に歯周組織の多くは回復したが、一部に病変の進行が休止した4mm以上の歯周ポケット、根分岐部病変、歯の動揺などが認められる症例において、ブラークコントロール、スケーリング・ルートプレーニング、咬合調整などの治療を行うことをいう。

× c、× d LDDSではミノサイクリンなどのテトラサイクリン系抗菌薬を用いる。テトラサイクリン系抗菌薬には、歯周組織の再生効果はない。

正解 a、b

【問題 41】 器具の写真(別冊午後 No. 9)を別に示す。

次亜塩素酸ナトリウム溶液を入れて行う処置はどれか。1つ選べ。

- a 根管貼薬
- b 根管洗浄
- c う窩の消毒
- d ポケット洗浄

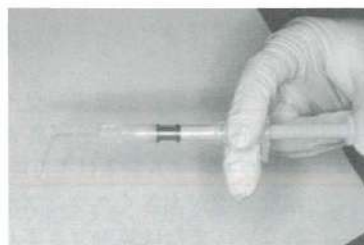
選択肢考察

- × a 根管貼薬にはフェノール製剤や水酸化カルシウム製剤を用いる。
- b 次亜塩素酸ナトリウムには有機質溶解作用があり根管洗浄に用いる。写真は根管洗浄用シリンジである。洗浄用シリンジに薬液をいれ、根管洗浄を行う。
- × c う窩の消毒は綿球に浸した薬液にて行う。
- × d ポケット洗浄には生理食塩水やアクリノールを用いる。

正解 b

▶歯周治療学

No. 8 A

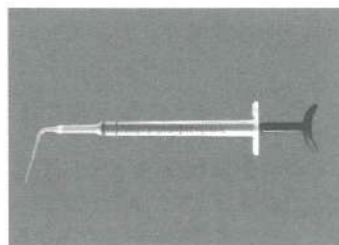


B



▶歯内療法学

No. 9



【問題 42】 70歳の男性。歯周治療終了後、SPT(supportive periodontal therapy)に移行することになった。移行時の口腔内写真(別冊午後 No. 10 A)とエックス線画像(別冊午後 No. 10 B)を別に示す。

SPT 期間中に前歯部で発生するリスクが高いのはどれか。2つ選べ。

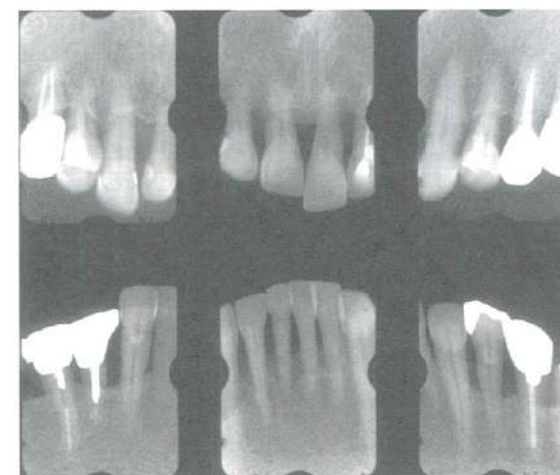
- a 食片圧入
- b 歯根破折
- c 暫間固定の破損
- d 歯肉縁上歯石の付着

▶歯周治療学

No. 10 A



B



選択肢考察

- × a 暫間固定が施術されているため、歯間部への食片圧入は防止できる。
- × b 修復物や支台築造物が装着されていないため、歯根破折の発生リスクが高いとはいえない。
- c 骨吸収のある多数歯を固定した場合、咬合力によって暫間固定が破損することは考えられる。
- d 歯間部の清掃が困難であるため、歯肉縁上歯石が付着するリスクは高い。

正解 c、d

【問題 43】 脱落した歯根完成永久歯を再植する前に用いる保存液で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 牛乳
- b 生理食塩液
- c EDTA 溶液
- d 次亜塩素酸ナトリウム溶液

▶歯内療法学

選択肢考察

- a、○ b 牛乳や生理食塩液は歯根膜の乾燥防止と保存に適した浸透圧をもつため、脱落した歯の保存液として有効である。
- × c、× d EDTA 溶液と次亜塩素酸ナトリウム溶液は根管の化学的清掃に用いる。

正解 a、b

[問題 44] 32歳の女性。下顎左側小白歯部の舌感不良を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.11)を別に示す。

主訴の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 修復物の脱離
- b 硬固物の習慣的摂取
- c 不適切なブラッシング
- d 酸性食品の習慣的摂取

▶保存修復学

No.11



選択肢考察

- × a 修復物は脱離しておらず、修復物周囲の実質欠損が認められる。
- b 咬合面の実質欠損は硬固物の習慣的摂取によって生じることがある。
- × c 不適切なブラッシングの場合、歯だけでなく歯肉に損傷(歯肉退縮や根面露出)が生じる。
- d う蝕の好発部位ではなく、頬面にブラークが認められない部位にも一様に実質欠損を認める。酸性食品による脱灰が疑われる。

正解 b, d

DH24:P286

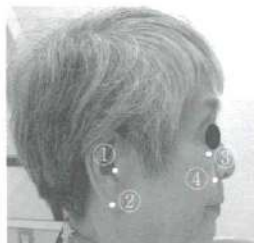
[問題 45] 全部床義歯製作中の側貌写真(別冊午後 No.12)を別に示す。

Camper(カンベル)平面の基準点はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶歯科補綴学

No.12



選択肢考察

- a、○ d ①は耳珠上縁でカンベル平面の後方基準点、④は鼻翼下縁で前方基準点である。カンベル平面(鼻聴道平面)は左右の鼻翼下縁と耳珠上縁を結んだ線(鼻聴道線;カンベル線)で決定される。カンベル平面は咬合平面とはほぼ平行な関係にあり、無歯顎者に全部床義歯を製作する症例や、全顎的な歯冠補綴を行う症例において咬合平面設定の基準となる。
- × b、× c ②は耳朶下縁、③は眼窩下縁である。

正解 a, d

DH24:P372

[問題 46] 75歳の女性。全部床義歯の不適合による咀嚼困難を主訴として来院した。検査の結果、新義歯を製作することになった。製作過程で行ったある操作の写真(別冊午後 No.13)を別に示す。この操作の目的はどれか。2つ選べ。

- a 顎堤部の粘膜調整
- b 顎堤部粘膜面の保護
- c 顎堤粘膜形態の再現
- d 機能運動に調和した辺縁形態の形成

▶歯科補綴学

No.13



選択肢考察

- × a 粘膜調整は義歯を用いて行う。
- × b 顎堤粘膜面部の保護はリリースによって行う。
- c、○ d 写真は上顎の個人トレー白歯後方にモデリングコンパウンドを築盛しており、筋圧形成前であることがわかる。軟化したモデリングコンパウンドを部分的にトレー辺縁部に築盛し、温湯中をくぐらせ口腔内に戻し、部位に応じた機能運動を行わせて辺縁形態の形成を行う。筋圧形成は、顎堤粘膜への加圧形態の記録および機能運動に調和した辺縁形態の形成を目的とする。

正解 c, d

DH24:P373

[問題 47] 34歳の男性。下顎右側第一小白歯に陶材焼付冠を製作することになった。支台歯形成後のある操作の写真(別冊午後 No.14)を別に示す。

この操作を行うにあたり適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 無影灯の光で明度を保つ。
- b 自然光に近い色温度を確保する。
- c エアシリンジで歯を完全に乾燥させる。
- d 隣接歯だけでなく反対側同名歯も参考にする。

▶歯科補綴学

No.14



選択肢考察

- × a 写真の操作はシェードテイキング(色調選択)である。無影灯は高照度でも手元に影が生じないようにする照明器具で、色調選択時に使用することはない。
- b 色温度とは、ある光源が発している光の色を定量的な数値で表現する尺度(単位)であり、色調選択時には自然光に近い色温度を確保する必要がある。
- × c 通常、口腔内の歯は湿潤しているため色調選択時は歯を乾燥させない。
- d 隣接歯だけでなく反対側同名歯や対合歯も参考にするのは、色調選択の基本である。

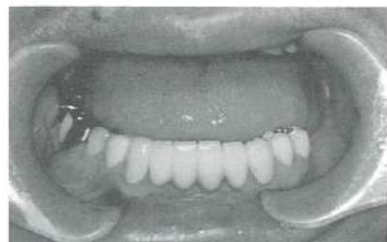
正解 b, d

DH24:P810

〔問題 48〕 装着前の口腔内写真(別冊午後 No.15 A)と床義歯の写真(別冊午後 No.15 B)を別に示す。装着されるのはどれか。1つ選べ。

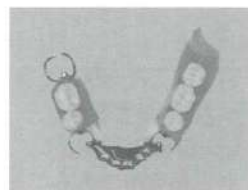
- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

No.15 A



B

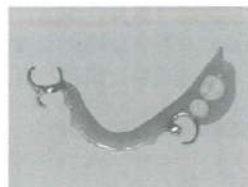
▶ 歯科補綴学



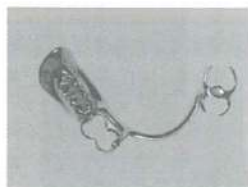
①



②



③



④

## 選択肢考察

- × a ①の義歯は、 $\overline{65}$ 欠損、 $\overline{567}$ 欠損に装着される片側遊離端義歯である。
- × b ②の義歯は、 $\overline{76}$ 欠損に装着される片側遊離端義歯である。
- c ③の義歯は、 $\overline{67}$ 欠損に装着される片側遊離端義歯である。口腔内写真から、患者は $\overline{67}$ 欠損である。
- × d ④の義歯は、 $\overline{76}$ 欠損に装着される片側遊離端義歯である。

正解 c

〔問題 49〕 17歳の女子。舌下面の腫瘍を主訴として来院した。1か月前に気付いたが放置していたところ、徐々に増大してきたという。腫瘍は無痛性で弾性軟である。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 膿瘍  
b 血管腫  
c 線維腫  
d 粘液嚢胞

▶ 口腔外科学

No.16



## 選択肢考察

- × a 膿瘍は化膿性炎にみられるもので、疼痛を伴う。
- × b 血管腫は舌や頬粘膜に好発する赤色または青紫色の腫瘍で、圧迫すると血液が移動して退色する。
- × c 線維腫は線維性組織の増殖性病変で、慢性刺激に対する反応性病変である線維性エプーリスや義歯性線維腫などがあ
- d 写真から舌尖部下面に透明感のある腫瘍がみられる。前舌腺部に腫脹がみられ、増大と縮小を繰り返していることから、前舌腺に生じた粘液嚢胞(ブランディン・ヌーン嚢胞)が疑われる。唾液腺の流出障害によって生じるもので、粘膜下の小唾液腺に好発する。

正解 d

DH 24:P 411

〔問題 50〕 33歳の女性。下顎左側前歯部の膨隆を主訴として来院した。同部の唇側と舌側の歯槽部に膨隆を認める。エックス線画像(別冊午後 No.17)を別に示す。

疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 舌がん  
b 歯牙腫  
c 含歯性嚢胞  
d エナメル上皮腫

▶ 口腔外科学

No.17



## 選択肢考察

- × a 舌がんは舌に発生する悪性腫瘍であり、エックス線画像では確認できない。
- b 下顎左側前歯部顎堤に不透過像が認められ、発症部位から歯牙腫が疑われる。
- × c 含歯性嚢胞は、埋伏歯の歯冠を含む透過像として認められ、下顎臼歯部や上顎前歯部に好発する。
- × d エナメル上皮腫は下顎臼歯部に好発する良性歯源性腫瘍で、透過像として認められる。

正解 b

〔問題 51〕 TNM分類でMが示すのはどれか。1つ選べ。

- a 遠隔転移の有無
- b 原発腫瘍の大きさ
- c 所属リンパ節転移の有無
- d 良性腫瘍と悪性腫瘍との鑑別

▶口腔外科学

選択肢考察

- a 遠隔転移の有無はMで示される。
- × b 原発腫瘍の大きさはTで示される。
- × c 所属リンパ節転移の有無はNで示される。
- × d TNM分類は良性腫瘍と悪性腫瘍を鑑別するものではない。

正解 a

〔問題 52〕 アデノイド肥大でみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 鼻呼吸
- b 口輪筋の緊張
- c 上顎歯列の狭窄
- d 上顎切歯の舌側傾斜

▶矯正歯科学

選択肢考察

- × a アデノイドは咽頭扁桃が肥大・増殖した状態で、鼻呼吸が困難となり口呼吸となることがある。鼻呼吸ができればアデノイド肥大はみられない。
- × b 口呼吸に伴って口輪筋は弛緩する。
- c アデノイド肥大は鼻呼吸の困難を生じるため口呼吸を行う傾向にある。その結果上顎歯列弓が狭窄することがある。そのほか口唇閉鎖不全、上顎前歯の唇側傾斜、下顎下縁平面角の増大、下顔面高の増大などがみられる。
- × d 上顎切歯の唇側傾斜はみられるが、舌側傾斜はみられない。

正解 c

DH 24:P 32

〔問題 53〕 口腔内写真(別冊午後 No.18)を別に示す。

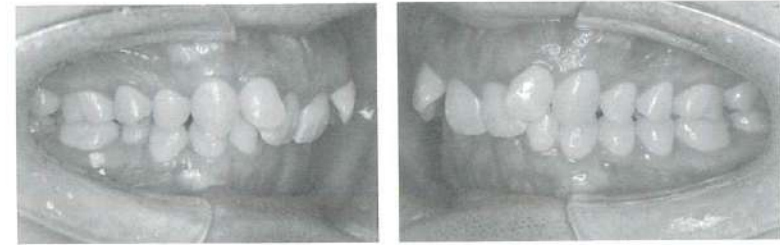
診断で正しい組合せはどれか。1つ選べ。

大臼歯関係      オーバーバイト

- a Angle I級      大きい
- b Angle I級      小さい
- c Angle II級      大きい
- d Angle III級      大きい

▶矯正歯科学

No.18



選択肢考察

- × a、× b Angle I級では上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭頂と下顎第一大臼歯頬側溝が咬合する。
- c 前歯の被蓋(オーバーバイト)が大きく、大臼歯関係は下顎の遠心咬合(Angle II級)である。
- × d Angle III級の大臼歯関係は下顎の近心咬合である。

正解 c

DH 24:P 435

〔問題 54〕 エックス線画像(別冊午後 No.19)を別に示す。

評価できるのはどれか。2つ選べ。

- a 口唇の突出度
- b 咬合平面の傾斜
- c 上顎骨の左右対称性
- d 中切歯の近遠心的傾斜

▶矯正歯科学

No.19



- a エックス線画像は側面頭部エックス線規格写真である。側面から見た上下顎の歯および軟組織形態を描出することができるため、口唇突出度の観察が可能である。頭部エックス線規格写真の撮影方向は正面と側面があり、側面頭部エックス線規格写真では、上下顎骨の大きさや相対的位置関係、上下顎中切歯の唇舌的傾斜、上下顎大臼歯の大きさや相対的位置関係など、前後的な形態的特徴の評価を行うことができる。また、前頭部から下顎骨に至る側貌軟組織の輪郭、アデノイドの大きさ、舌の位置などの軟組織の評価も可能である。
- b 咬合平面の傾斜の評価が可能である。FH平面との角度を計測する。
- × c 側貌写真なので左右の対称性はわからない。対称性については正面頭部エックス線規格写真で行う。
- × d 中切歯の近遠心的傾斜でなく、唇舌的な傾斜角度は計測可能である。

正解 a、b

DH 24:P 442

【問題 55】 ある矯正装置を装着した口腔内写真(別冊午後 No.20)を別に示す。この装置によって期待できる効果はどれか。1つ選べ。

- a 上顎骨の前方成長促進
- b 上顎歯列弓の側方拡大
- c 上顎中切歯の唇側傾斜移動
- d 上顎第一大臼歯の遠心歯体移動

▶矯正歯科学

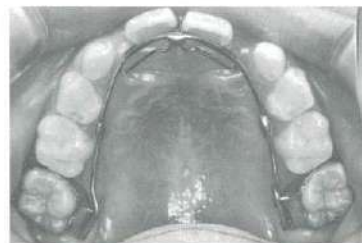
## 選択肢考察

- × a 舌側弧線装置単独使用による上顎骨の前方成長促進効果は期待できない。
- × b 上顎歯列の側方拡大には急速拡大装置緩徐拡大装置を用いる。
- c 写真の装置は舌側弧線装置である。舌側弧線装置は個々の歯の位置異常の改善に用いられる顎内固定装置である。1~2歯の唇(頬)側移動や近遠心移動に用いる。補助弾線の持続的な矯正力によって歯は傾斜移動する。
- × d 舌側弧線装置による上顎第一大臼歯の遠心歯体移動は期待できない。

正解 c

DH 24:P451

No.20



【問題 56】 3歳の男児。歯の変色を主訴として来院した。2週前から徐々に変化してきたが、現在痛みと動揺はない。先天性疾患の既往もないという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.21)を別に示す。

- 変色の原因で考えられるのはどれか。1つ選べ。
- a 歯の外傷
  - b 抗菌薬の使用
  - c フッ化物の過剰摂取
  - d 乳歯の根尖性歯周炎

▶小児歯科学

## 選択肢考察

- a 写真から上顎右側乳中切歯に局限した歯の変色が確認できる。歯の変色の原因には内因性と外因性があるが、1歯に局限した変色では外傷による歯髄出血や歯髄壊死が疑われる。
- × b 歯の形成期間中にテトラサイクリン系抗菌薬の投与を受けると、黄色や灰白色に着色することがあるが、1歯に局限することはない。
- × c 歯の形成期において、フッ化物の過剰摂取によって斑状歯が生じる。過剰摂取時期に形成中の歯に認められるため、1歯に局限することはない。
- × d 先行乳歯に根尖性歯周炎が生じると、後継永久歯の形成が障害されることがある。これをターナー歯といい、限局的にみられる。設問から変色がみられるのは乳歯であるため考えられない。

正解 a

DH 24:P464

No.21



【問題 57】 4歳の男児。口腔内の疼痛を主訴として来院した。3日前に発熱したが現在は解熱しており、口腔内外に水疱がみられる。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.22 A)と手掌の写真(別冊午後 No.22 B)を別に示す。

- 原因と考えられるのはどれか。2つ選べ。
- a エンテロウイルス
  - b 単純疱疹ウイルス
  - c ムンプスウイルス
  - d コクサッキーウイルス

▶小児歯科学

## 選択肢考察

- a、○ d 手足口病はコクサッキーA型ウイルス、あるいはエンテロウイルスによるウイルス感染症で、発熱のほか、手掌、足底、口腔粘膜に発疹・水疱がみられる。
- × b 単純疱疹ウイルスはヘルペス性歯肉口内炎や口唇ヘルペスの原因ウイルスである。手掌、足底に水疱はみられない。
- × c ムンプスウイルスは流行性耳下腺炎の原因ウイルスである。2~3週間の潜伏期間の後、耳下腺の腫脹と疼痛をきたす疾患である。

正解 a、d

DH 24:P468

No.22 A



B



【問題 58】 23歳の女性。う蝕治療を希望して来院した。脳性麻痺と診断されている。歯科治療時の姿勢(別冊午後 No.23)を別に示す。

- この姿勢の目的はどれか。2つ選べ。
- a 転落の防止
  - b 低血圧の予防
  - c 原始反射の抑制
  - d 深部静脈血栓症の予防

▶高齢者・障害者歯科学

## 選択肢考察

- a、○ c 設問の写真は腰から膝にかけてクッションがあり、股関節と膝関節を屈曲させている。これは姿勢緊張調整パターン(ボパースらの反射抑制肢位)である。原始反射の残存する脳性麻痺患者の治療に効果的な体位で、股関節と膝関節を屈曲させた状態を、クッションなどを利用して作る。この体位をとらせることで緊張(反射)が抑制され、ユニットからの転落も防止できる。

正解 a、c

DH 24:P517

No.23



【問題 59】咀嚼時に食物が口腔外にこぼれるのを防ぐのに最も関与するのはどれか。1つ選べ。

- a 笑筋
- b 頬筋
- c 口輪筋
- d 口角挙筋

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a 笑筋は口角を後方に引く作用を有する。
- × b 頬筋は開閉口運動に伴って頬に一定の緊張を与えることにより、咬合、咀嚼時における誤咬を抑制するとともに、歯列上に食塊を載せる働きがある。
- c 口輪筋は口裂を狭くし閉鎖する作用があることから、食物が口腔外にこぼれるのを防ぐことに関与する。
- × d 口角挙筋は口角を上方に挙げる作用を有する。

正解 c

DH24:P548

【問題 60】36歳の女性。食物が飲み込めないことを主訴として来院した。製作した装置の写真(別冊午後 No.24)を別に示す。

この装置によって改善する嚥下の時期はどれか。1つ選べ。

- a 先行期
- b 準備期
- c 口腔期
- d 咽頭期

▶高齢者・障害者歯科学  
No.24



選択肢考察

- × a 先行期は食物が口腔外にあるため、設問の装置は関係しない。
- × b 設問の装置によって食物の口腔への取り込みや食塊の形成障害が改善されることはない。
- c 写真の装置は舌接触補助床である。舌接触補助床は、食塊形成時の舌の陥凹を容易にし、食塊を咽頭部へ移送する力を補足して口腔期を改善する。
- × d 軟口蓋挙上装置ではないため、咽頭期の改善を期待できない。

正解 c

DH24:P571

【問題 61】来院時の歩行状態を図に示す。



最も疑われる疾患はどれか。1つ選べ。

- a 脳梗塞
- b 関節リウマチ
- c パーキンソン病
- d 筋ジストロフィー

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- a 脳梗塞による前頭葉の障害により、本問題のような対側の片麻痺がみられることが多い。歩行障害の型により障害部位を推定できる。左側の運動野の脳梗塞や脳出血で右の運動麻痺が生じていると判断できる。
- × b 関節リウマチは、進行に伴い関節の変形や硬直を呈する。本症例のような歩行姿勢による障害はない。
- × c パーキンソン病はドーパミン代謝異常により、錐体外路症状を呈する疾患である。仮面様顔貌を呈し、前屈姿勢で小刻み歩行をするのが特徴であり、急には止まらない。
- × d 筋ジストロフィーでは全身の骨格筋が萎縮し歩行困難となる。

正解 a

【問題 62】 嚥下障害のスクリーニングに用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a 嚥下造影検査
- b 嚥下超音波検査
- c 嚥下内視鏡検査
- d 改訂水飲みテスト

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a 嚥下造影検査 (VF) は、造影剤を含んだ食物を嚥下させ口腔から食道に至る食物の流れを評価する精密検査である。
- × b 嚥下超音波検査 (嚥下エコー検査) は障害のある嚥下相の特定や障害程度を評価するものであり、スクリーニングテストの後に必要に応じて行う精密検査である。
- × c 嚥下内視鏡検査 (VE) では食塊を嚥下する過程を評価でき、スクリーニングテストの後に必要に応じて行う精密検査である。
- d 改訂水飲みテスト (MWST) は嚥下障害の有無について評価するスクリーニングテストの1つである。異常と判定されたら嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査を行う。

正解 d

DH 24:P541

【問題 63】 デンタルミラーの役割でないのはどれか。1つ選べ。

- a 投影
- b 反射
- c 排除
- d 把持

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 直視できない歯面や口腔内をミラーに映して見えるようにする。
- b ライトの光を集めて反射させ、術野を明るくする。
- c 舌や頬粘膜を押さえて、軟組織で隠れてしまう術野を見やすくする。
- × d 把持はピンセットの役割である。

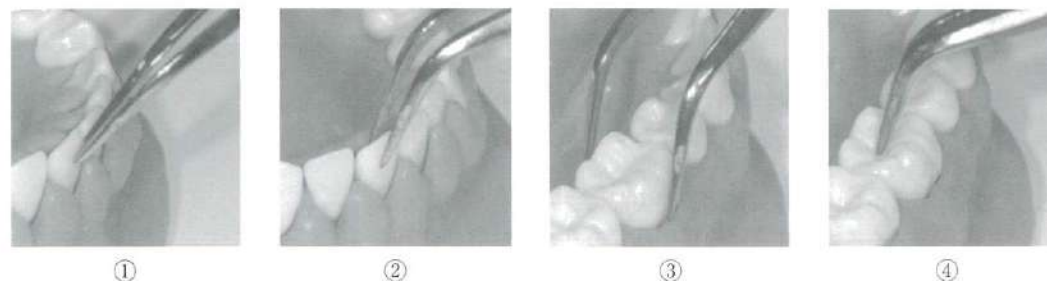
正解 d

【問題 64】 Miller の動揺度を測定している写真 (別冊午後 No.25) を別に示す。適切なのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶歯科予防処置

No.25



選択肢考察

- × a、○ b 前歯部はピンセットで切縁を扶む。
- × c、○ d 臼歯部はピンセットの先端を揃えて中央の小窩に置く。

● 歯の動揺度の検査 (Miller の分類)

- 1度 (軽度の動揺) : 唇舌方向にわずかに動く (0.2~1.0mm)。
- 2度 (中等度の動揺) : 唇舌方向に中等度動く (1.0~2.0mm)。近遠心方向にも動く。
- 3度 (重度の動揺) : 唇舌方向に約 2.0mm 動く。近遠心、垂直方向にも動く。



正解 b、d

DH 24:P597

【問題 65】 67歳の女性。上顎右側側切歯の咬合痛を主訴として来院した。1か月前から違和感があったがそのままにしていたという。初診時の口腔内写真(別冊午後No.26)を別に示す。観察できるのはどれか。1つ選べ。

- a クレフト
- b フィステル
- c フェストゥーン
- d グラインディング

選択肢考察

- × a、× c、× d 辺縁歯肉がU字型またはV字型の裂け目を呈するクレフト、辺縁歯肉がロール状に肥厚するフェストゥーン、プラキシズムの1つであるグラインディングはみられない。
- b 口腔内写真から上顎右側側切歯根尖部にフィステルが認められる。フィステルは膿汁の排出孔であり、一般的には根尖性歯周炎に伴い生じた根尖部の膿瘍が歯肉粘膜下に移行し、やがて自潰することにより形成される。

正解 b

▶ 歯科予防処置

No.26

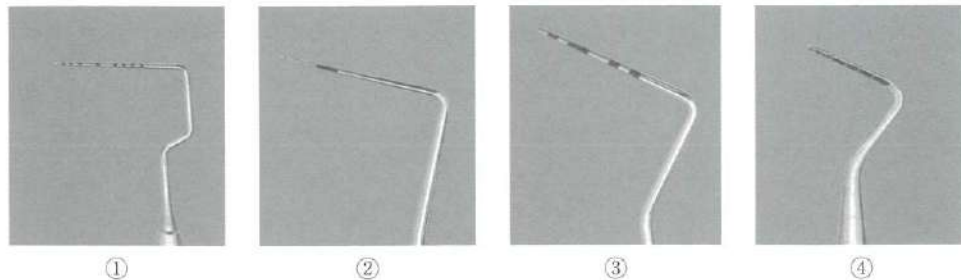


【問題 66】 プローブの写真(別冊午後No.27)を別に示す。CPI検査に用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

No.27

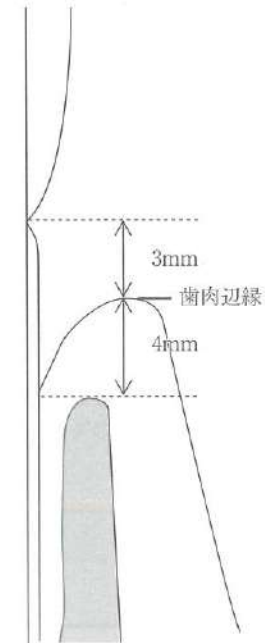


選択肢考察

- × a ① はノバテック90度プローブである。
- b ② はCPIプローブ(WHOプローブ)である。先端が球状になっており、歯周組織に損傷を与えない構造である。CPI検査に用いる。
- × c ③ はカラーコードプローブである。
- × d ④ はフラットタイプの歯周プローブである。

正解 b

【問題 67】 プロービング時の図を示す。



クリニカルアタッチメントレベルはどれか。1つ選べ。

- a 3mm
- b 4mm
- c 7mm
- d 8mm

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- c クリニカルアタッチメントレベルは、歯周ポケットにプローブ(ポケット探針)を挿入した際のセメント-エナメル境からポケット底までの距離を指し、プロービングポケットデプスに歯肉退縮量を合算して求める。歯肉退縮量が3mm、プロービングポケットデプスが4mmであるため、クリニカルアタッチメントレベルは7mmとなる。

正解 c

【問題 68】 歯周炎と相互に影響を及ぼすのはどれか。1つ選べ。

- a 白血病
- b 糖尿病
- c 高血圧症
- d 誤嚥性肺炎

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 白血病では歯周炎症状を呈することがあるが、歯周炎の発症が白血病に影響することはない。
- b 全身疾患のうち、糖尿病は歯周炎を発症させやすい環境をつくる。歯周炎の炎症因子は血糖値調整を阻害し、糖尿病の症状を悪化させる。
- × c 高血圧症は歯周炎と直接関係することはない。
- × d 歯周炎が誤嚥性肺炎を惹起または悪化させることはあるが、誤嚥性肺炎が歯周炎を悪化させることはない。

正解 b

【問題 69】 健康な歯肉でみられるのはどれか。1つ選べ。

- a クレフト
- b フェストゥーン
- c アブフラクション
- d ステップリング

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯肉クレフトは、辺縁歯肉のV字状の切れ込みで、不適切なブラッシングや強い咬合圧や歯肉肥大などを原因として生じると考えられている。
- × b フェストゥーンは、歯肉辺縁のロール状の肥厚で、強いブラッシング圧や、強い咬合圧が原因で生じると考えられている。
- × c アブフラクションは、歯の歯頸部に生じるくさび状欠損で、強いブラッシング圧や強い咬合圧が原因で生じると考えられている。
- d ステップリングは、歯肉固有層のコラーゲン線維が上皮を引っ張ることで生じる窪みで、健康な付着歯肉に認められる。また、炎症が生じると消失する。健康な歯肉は、薄いピンク色をしており、歯間乳頭や辺縁歯肉が引き締まっており、ブラッシング等で出血はしない。また、付着歯肉には歯肉結合組織のコラーゲン線維が上皮を牽引するために生じるステップリングが観察できる。

正解 d

DH24:P589

【問題 70】 シャープニング後の切れ味の確認に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ルーベ
- b テスト棒
- c 油性サインペン
- d セラミックストーン

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a シャープニング後の切れ味の確認は、視覚や触覚によって行う。視覚による評価では、ルーベでシャープニングした面を確認する。
- b テスト棒は触覚による切れ味評価で用いる。
- × c スケーラーの側面位油性サインペンを塗ることで、刃部側面に砥石が適切にあたり、シャープニング操作ができていないかを確認できる。
- × d セラミックストーンはシャープニングの仕上げに用いる。

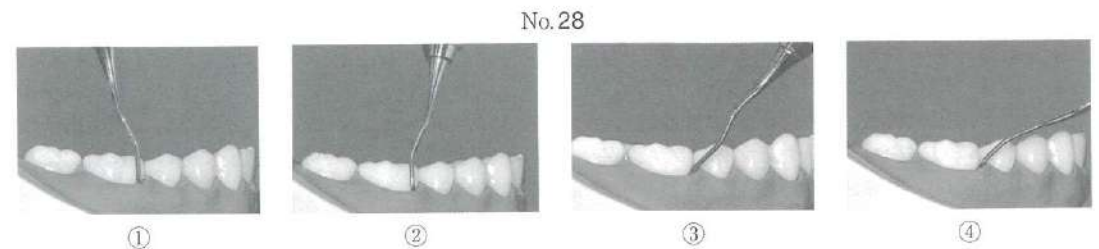
正解 a, b

【問題 71】 グレーシー型キュレット操作の写真(別冊午後 No.28)を別に示す。

歯面と操作角度で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置



選択肢考察

- × a ①は歯周ポケットの幅を広げるように挿入されているため、適切ではない。
- b ②は辺縁歯肉を損傷しないように挿入されており、また刃面も歯冠形態にあわせて歯面に沿わせるように当てているため適切である。スケーラーを歯周ポケット内に挿入する時には、辺縁歯肉を損傷しないよう注意しながら、刃面を歯冠形態にあわせて歯面に沿わせるように当てる。
- × c、× d ③、④は歯周ポケットの幅を大きく広げるように挿入されており、また刃面も歯冠形態にあわせて歯面に沿わせるように当てていないため、適切ではない。

正解 b

[問題 72] スケーリング時の偶発事故防止策はどれか。1つ選べ。

- a 刃部は鈍にしておく。
- b ラバーダムを装着する。
- c 硬組織に手指を固定する。
- d 痛みを感じたら自由に合図させる。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a スケーラーの刃部を鈍にしておく、作業能率が低下して偶発事故が起こりやすくなる。
- × b ラバーダム装着によって咽頭部への器具の落下を防止できるが、歯頸部の視野を狭くするため通常装着しない。
- c 硬組織に手指を固定することでフリーハンドになることを避け、器具の滑走を防止する。
- × d 痛みを感じた時に自由に合図させると、裂傷などの偶発事故が起こりやすくなる。通常、声に出さずに左手を挙げる方法で合図するように伝える。

正解 c

[問題 73] 歯周病のリスクファクターで宿主因子の炎症増悪因子はどれか。2つ選べ。

- a 歯石
- b 性別
- c 口呼吸
- d 食片圧入

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯石、歯列不正、歯の形態異常、口腔軟組織の形態異常や不適合修復物・補綴装置および義歯・矯正装置は宿主因子のプラークリテンションファクターに含まれる。
- × b 性別は宿主因子の全身性因子に含まれる。
- c、○ d 口呼吸、食片圧入は宿主因子の炎症増悪因子に含まれる。歯周病のリスクファクターは細菌因子、宿主因子、環境因子に分類される。宿主因子は局所因子と全身因子に分類され、局所因子はさらに①プラークリテンションファクター、②炎症増悪因子、③外傷性因子に分けられる。全身因子には、年齢、人種、性別、体質や全身疾患が含まれる。

正解 c、d

要点

● 歯周病のリスクファクター

1. 細菌因子  
デンタルプラーク、歯周病原細菌
2. 環境因子  
喫煙、ストレス、栄養障害、薬物 など
3. 宿主因子
  - ① プラーク付着増加因子(プラークリテンションファクター)  
歯石、歯列不正、歯の解剖学的形態異常、口腔軟組織の形態異常、辺縁不適合な修復物・補綴装置 など
  - ② 炎症性増悪因子  
食片圧入、口呼吸
  - ③ 外傷性因子  
外傷性咬合、ブラキシズム、歯の早期接触 など

[問題 74] う蝕の活動性試験で唾液緩衝能を評価するのはどれか。2つ選べ。

- a Hadley test
- b Dreizen test
- c Enamel Biopsy
- d Dentobuff®-Strip

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a、× c Hadley test は乳酸菌数を、Enamel Biopsy は歯質の耐酸性を評価する試験である。
- b、○ d Dreizen test、Dentobuff®-Strip は唾液緩衝能を評価項目とする試験である。う蝕のリスクはう蝕活動性試験によって評価できる。う蝕活動性試験では唾液、プラークやエナメル質を検体として用い、酸産生能や唾液緩衝能、乳酸桿菌数、歯質の耐酸性などを測定する。

正解 b、d

DH24:P636

[問題 75] う蝕予防を目的としたフッ化物応用法とフッ化物濃度との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a フッ化物歯面塗布 ———— 900ppmF
- b フッ化物洗口 ———— 250ppmF
- c フッ化物配合歯磨剤 ———— 1,500ppmF
- d 水道水フッ化物添加 ———— 5ppmF

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a フッ化物歯面塗布には2% NaF が用いられ、フッ素濃度は9,000ppm である。
- b フッ化物洗口のうち、毎日法では0.05% NaF 溶液を使用し、フッ素濃度は250ppm である。
- c フッ化物配合歯磨剤には最高濃度として1,500ppm のフッ化物が添加されている。
- × d 上水道にフッ素を添加する場合のフッ化物濃度は、ほとんどの場合1ppm 以下である。

正解 b、c

要点

● フッ化物応用法

方法	用いられるフッ化物	フッ化物イオン濃度 (ppm)
フッ化物歯面塗布	NaF 2%フッ化ナトリウム溶液 リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液 ・第1法	9,000
	SnF <sub>2</sub> 8%フッ化第一スズ溶液 4%フッ化第一スズ溶液	12,300 9,000 19,400 9,700
フッ化物洗口	NaF 0.05~0.1% (毎日法)	225~450
	0.2% (週1回法)	900
フッ化物配合歯磨剤	Na <sub>2</sub> PO <sub>3</sub> F (モノフルオロリン酸ナトリウム) NaF SnF <sub>2</sub>	1,500

[問題 76] 1歳10か月の男児。う蝕予防を希望して来院した。予防処置を行うために準備した器材の写真(別冊午後 No.29)を別に示す。

応用するのはどれか。1つ選べ。

- a 予防充填材
- b フッ化物洗口剤
- c ポリッシングペースト
- d ゲル状フッ化物歯面塗布剤

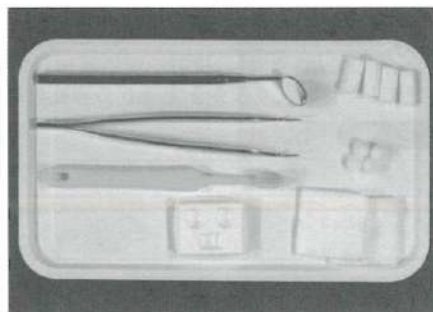
選択肢考察

- × a 予防充填材の応用にはディッシュや歯ブラシは必要ない。
- × b フッ化物洗口剤の応用には小カップ(通常10mL)が用いられる。
- × c ポリッシングペーストの応用には、ロビンソンブラシやラバーカップなどの回転清掃器具が必要である。
- d ポール綿による簡易防湿法の後、ゲル状フッ化物歯面塗布剤を綿球または歯ブラシで塗布する。写真のトレーの上にはフッ化物のためのディッシュ、綿球、歯ブラシが用意されており、簡易防湿法による塗布が行われる。

正解 d

▶ 歯科予防処置

No.29



[問題 77] 8歳の女児。う蝕予防処置を希望して来院した。下顎左側第一大臼歯に光硬化型ガラスイオノマーセメントを用いて小窩裂溝充填を行うことになった。処置中の写真(別冊午後 No.30)を別に示す。

次に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 研磨
- b 充填
- c ラバーダム除去
- d バーニッシュ塗布

選択肢考察

- × a 研磨はラバーダム除去後に行い、咬合をチェックする。
- × b 充填を行った後に、光重合器で硬化させる。
- × c すべての処置が終了した後にラバーダムを除去する。
- d シーラント充填の直後に初期感水防止のためバーニッシュ塗布を行う。小窩裂溝充填法は、う蝕感受性の高い、萌出間もない健全歯(COを含む)の小窩裂溝に対して応用する。充填する材料の種類にはレジン系材料とガラスイオノマー系材料とがある。ガラスイオノマー系材料はフッ素徐放性があり、萌出途中の歯に対しても応用できる。

正解 d

▶ 歯科予防処置

No.30



[問題 78] 歯科保健指導で問題解決を行う際に適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 目標には期限を設定する。
- b 対象者の目指すゴールは同じである。
- c 計画の立案は歯科衛生士主体で行う。
- d 複数ある問題には優先順位を決定する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 目標達成までの期限を設定する。
- × b 目指すゴールは対象者ごとに異なる。
- × c 歯科保健指導は歯科衛生士が重要な役割を担うが、歯科衛生士主体ではない。
- d 問題が複数ある場合、問題の重要性や緊急性を考え優先順位を決定する。

正解 a、d

[問題 79] OHI-S(Greene & Vermillion)とGI(Löe & Silness)に共通する診査対象歯はどれか。2つ選べ。

- a 16
- b 26
- c 36
- d 46

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

○ a、c OHI-Sの診査対象歯は  $\frac{6}{6} \frac{1}{1} \frac{6}{6}$ 、GIの診査対象歯は  $\frac{6}{4} \frac{2}{2} \frac{4}{6}$  である。従って共通する診査対象歯は16および36である。

正解 a、c

DH 24:P676

[問題 80] 喫煙がリスクファクターとなるのはどれか。2つ選べ。

- a 膠原病
- b 血友病 A
- c 口腔がん
- d 慢性閉塞性肺疾患(COPD)

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 膠原病は全身の関節、血管、皮膚、筋肉などの結合組織に変性をきたす慢性的自己免疫疾患である。喫煙はリスクファクターではない。
- × b 血友病 A は第Ⅷ因子の遺伝子に変異、欠失、または逆位が生じることに起因する遺伝性疾患で、主に男性に現れる。喫煙はリスクファクターではない。
- c 口腔がんのリスクファクターには喫煙、過度の飲酒、歯の鋭縁や不適合補綴装置による機械的刺激などが挙げられる。
- d 慢性閉塞性肺疾患(COPD)は、主に喫煙が原因でみられる肺疾患である。

正解 c、d

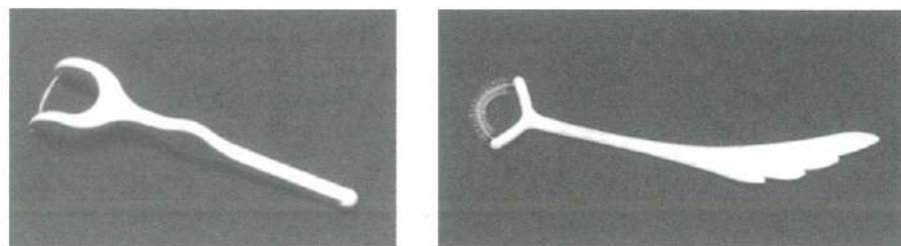
[問題 81] 50歳の女性。下顎左側第一大臼歯の欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、固定性ブリッジによる治療が行われた。器材の写真(別冊午後 No.31)を別に示す。

固定性ブリッジ基底面の口腔清掃指導に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

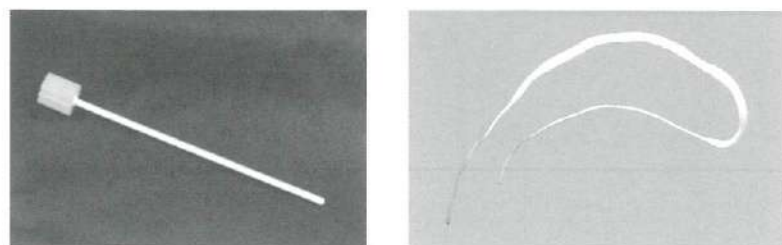
▶ 歯科保健指導

No.31



①

②



③

④

選択肢考察

- × a ①はホルダー付デンタルフロスである。デンタルフロス自体はポンティック基底面への清掃に適しているが、ホルダー付は不可能である。
- × b ②は舌ブラシで、舌苔の除去に用いる。
- × c ③はスポンジブラシで、口腔粘膜の清掃に用いる。
- d ④はスーパーフロスである。スーパーフロスのフィラメント部分は特殊処理されたナイロン繊維でスポンジ状になっており、ポンティック基底面や連結部の清掃に適している。

正解 d

[問題 82] 食品添加物はどれか。2つ選べ。

- a 卵
- b 牛乳
- c クエン酸
- d キシリトール

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× b 卵、牛乳は食品である。
- c クエン酸は酸味料として用いられる食品添加物である。食品添加物は保存料、甘味料、着色料、香料、など食品の製造過程または食品の加工・保存の目的で使用されるものである。
- d キシリトールは代用甘味料として用いられる食品添加物である。

正解 c、d

[問題 83] 高齢者の栄養評価と評価内容との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a SGA ———— 脱水
- b Body Mass Index ———— 体脂肪量
- c 血清アルブミン値 ———— 血清蛋白
- d 体重変化率 ———— 栄養状態の変化

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a SGA(主観的包括的栄養評価)は、患者の記録や身体所見から栄養状態を主観的に評価する方法である。
- × b Body Mass Index (BMI)は体格指数と呼ばれ、手軽に分かる肥満度の目安である。体重(kg)÷身長(m)<sup>2</sup>で算出する。
- c アルブミンはタンパク質の種類であり、血清アルブミン値は血清のタンパク質量を反映する。
- d 体重変化率を確認することにより、栄養状態のうち摂取エネルギー量の変化を評価することができる。

正解 c、d

[問題 84] 小学校高学年を対象とした集団歯科保健指導を行うことになった。

特に留意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 第一大臼歯のう蝕予防
- b 第二大臼歯のう蝕予防
- c 咀嚼と体の健康の関わり
- d 食後の歯・口腔清掃の習慣付け

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 第一大臼歯のう蝕予防は小学校低学年～中学年を対象とした課題である。
- b 第二大臼歯のう蝕予防は小学校高学年を対象とした特に留意すべき課題である。
- c 咀嚼と体の健康の関わりは小学校高学年～中学生を対象とした特に留意すべき課題である。
- × d 食後の歯・口腔清掃の習慣付けは小学校低学年を対象とした課題である。

正解 b、c

[問題 85] 欠乏によって味覚障害をきたすのはどれか。2つ選べ。

- a 鉄
- b 銅
- c 亜鉛
- d フッ素

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 人体での全鉄量のうち約 55% は赤血球に存在し、ヘモグロビンの構成成分となり、酸素の運搬に重要な役割を果たしている。欠乏により貧血ならびに舌乳頭の萎縮(平滑舌)が生じ、味覚障害をきたすことがある。
- × b 銅は肝臓、脳、皮膚に比較的多く存在する。血液中にも存在し、銅の欠乏で貧血を起こすことがあるが、味覚障害をきたすものではない。
- c 亜鉛の欠乏では発育遅延、脱毛症のほか、皮膚粘膜の肥厚や角化などを呈する。このことより味覚障害が現れると考えられる。
- × d フッ素は過剰摂取により脊椎の外骨症、椎間板や脊椎の靭帯の石灰化をきたし、悪化すると運動障害が現れる。欠乏による障害はほとんどみられない。

正解 a, c

[問題 86] 終末期の高齢者に対する口腔健康管理の目的はどれか。1つ選べ。

- a 咬合力の増大
- b 咬合高径の維持
- c 誤嚥性肺炎の予防
- d セルフケアの確立

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× b、× d 高齢者における口腔健康管理は、主にフレイル期、維持期(生活期)、終末期のそれぞれのステージに応じたアプローチを検討する必要がある。咬合力の増大、咬合高径の維持、セルフケアの確立は終末期の高齢者に対する口腔健康管理の目的ではない。
- c 終末期とは、医療的介入によって病気の回復または進行の阻止が期待できず、死期が間近に迫っている状態を指す。終末期の高齢者では口腔機能や口腔自浄作用の低下から口腔環境の悪化が著しく、唾液などの誤嚥による誤嚥性肺炎のリスクが急激に高まるため、これを予防するための口腔健康管理が重要となる。

正解 c

[問題 87] 10歳の女兒。定期健診を希望して来院した。口腔内診査後、プラークの染め出しを行った。染め出し前後の口腔内写真(別冊午後 No.32 A、B)を別に示す。

指導内容で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 歯列の凹凸に注意する。
- b 歯頸部を意識して磨く。
- c 歯肉溝にはバス法を指導する。
- d 隣接面には歯間ブラシを用いる。

▶ 歯科保健指導

No.32 A



B



選択肢考察

- a 下顎左側側切歯がやや舌側にあり、プラークがたまりやすくなっている。
- b 歯頸部にプラークの付着が多いため、意識しながら磨くよう指導する。
- × c この時期には萌出に伴う仮性の歯周ポケットが生じることはあるが、生理的であり、対応は行わない。
- × d 次の段階にはフロスを推奨すべきである。

正解 a, b

[問題 88] 妊婦への歯科治療で合併症のリスクが低い時期はどれか。1つ選べ。

- a 妊娠 5~10 週
- b 妊娠 11~15 週
- c 妊娠 16~27 週
- d 妊娠 28~34 週

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× b 妊娠 4~15 週は器官形成期で、催奇形性をはじめとする合併症のリスクが高い時期である。
- c 妊娠 16~27 週は安定期に入っているため、合併症のリスクが低い時期である。
- × d 妊娠 28 週以降は、仰臥位低血圧症候群や早産のリスクが高まる。

正解 c

【問題 89】 ロコモティブシンドロームが疑われる症状はどれか。1つ選べ。

- a 物忘れがひどい。
- b 字がかすんでみえる。
- c 食事の際にむせやすい。
- d 家の中でつまづきやすい。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 「物忘れがひどい」のは**認知症**が疑われる。
- × b 「字がかすんでみえる」は視力低下であり、運動器ではない。
- × c 「食事の際にむせやすい」は摂食、嚥下機能の低下が疑われる。
- d ロコモティブシンドロームとは、「**運動器の障害**」により「要介護になる」リスクの高い状態にあることである。「家の中でつまづきやすい」は運動器の低下であり、ロコモティブシンドロームが疑われる。

正解 d

【問題 90】 問題解決指向型診療録における SOAP の「A」にあたる事項はどれか。1つ選べ。

- a 鑑別診断
- b 検査所見
- c 指導計画
- d 治療方針

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 鑑別診断は、主観的または客観的情報から得られる個々の問題に対する経過の総括的評価の「A」に含まれる。
- × b 医師・歯科医師が行った臨床検査結果、各種機能評価などの客観的データは「O」に含まれる。
- × c 「S」、「O」、「A」をもとにした診療方針、診療計画、指導計画は「P」である。「P」では問題点をいかに解決するか、その方針(plan)を決める。
- × d 治療方針は「P」である。

正解 a

【参考】

従来の診療録は、患者の症状、身体所見、検査所見、診断、治療について時系列的に記載する方式が用いられている。ところがこの方式には患者の情報分析、評価をして診断するまでの論理過程の記載に統一性がない、治療計画についてまとめて記載する欄がない、などの問題点がある。診療の目的は、患者の心身、健康上の問題解決であるから、診療記録の形式は、収集した症状、所見、検査結果から、今回の分析対象とした診療情報が何であったか、その分析評価から診断に至った論理過程について明確に記載できるものであり、問題解決のプロセスの記載にも適したものであることが望ましい。このような問題の解決方法の1つとして、L. L. Weed が提唱したのが問題志向型システム (Problem-Oriented System) とよばれるシステムで、一般に POS といわれている。

問題解決指向型診療録では、まず問題点を列挙し、それぞれの問題について記録内容を以下の4項目に分離する。

- ① S (Subject) : 主観的データ。患者の訴え、病歴など。
- ② O (Object) : 客観的データ。診察所見、検査所見など。
- ③ A (Assessment) : ①と②で得た情報の評価。
- ④ P (Plan) : ①、②、③をもとにした**診療方針、診療計画**。

問題を列挙した一覧を Problem List という。問題点毎に、「収集した情報」と「そこからの判断」を明確に区別することから始める。そして客観的データと患者の主観的データを区別した上で、その中から問題点を抽出し、それぞれの問題点について評価と対処を記録していく。

[問題 91] 粘膜の消毒に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a 普通石けん
- b エタノール
- c グルタラール
- d ペンザルコニウム塩化物

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 普通石けんは脂肪酸のナトリウム塩やカリウム塩をいう。手指の汚れを浮き上がらせ、油分を洗い流すのに用いられる洗浄剤である。粘膜の消毒には用いない。
- × b 消毒用エタノールはエタノールを15℃で76.9~81.4vol%を含む。手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒に用いる。刺激作用を有するため、損傷皮膚及び粘膜には使用しない。
- × c グルタラールは医療器具の化学的滅菌または殺菌消毒に用いる。基本的な注意事項として人体に使用してはならず、粘膜には使用できない。
- d ペンザルコニウム塩化物は手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚や粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒、感染皮膚面の消毒、医療機器の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒に汎用されている。

正解 d

📖 要点集 331:P66

要点

◎ 消毒効果による三つの水準

水準	消毒剤	消毒対象物					対象微生物			
		環境	金属製器具	非金属製器具	手指・皮膚	粘膜	一般細菌	芽胞	HIV	HBV
高水準	グルタラール (グルタールアルデヒド)	○	○	○	×	×	○	○	○	○
中水準	次亜塩素酸ナトリウム	△	×	○	×	△	○	△	○	○
	ポビドンヨード	×	×	×	○	○	○	△	○	×
	消毒用エタノール	△	○	○	○	×	○	△	○	×
低水準	クレゾール	△	△	△	△	△	○	×	×	×
	塩化ペンザルコニウム	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	塩化ベンゼトニウム	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	グルコン酸クロルヘキシジン	○	○	○	○	×	○	×	×	×

○: 使用可能  
△: 注意を必要とする  
×: 使用不可能

○: 有効  
△: 十分な効果が得られない場合あり  
×: 無効

[問題 92] 生理食塩液の濃度はどれか。1つ選べ。

- a 0.2%
- b 0.9%
- c 2.0%
- d 9.0%

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- b 生理食塩液の濃度は0.9%である。

正解 b

[問題 93] 修復処置に用いる器材の写真(別冊午後 No.33)を別に示す。

使用目的はどれか。2つ選べ。

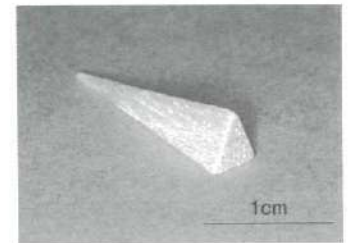
- a 菌間分離
- b 封鎖性の確保
- c 菌間乳頭の保護
- d 遊離エナメル質の保護

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a、○ c 写真はウェッジである。ウェッジは主に菌間分離に用いる。隣在歯の隣接面や菌間乳頭を切削具による傷害から保護する効果などが期待できる。また、マトリックスバンドなどの固定にも応用することができる。
- × b 封鎖性の確保は隔壁の目的である。歯冠崩壊が大きい症例では隔壁を形成し、封鎖性を確保する必要がある。
- × d 遊離エナメル質の保護にウェッジは用いない。

No.33



正解 a、c

📖 DH 24:P798

[問題 94] 高齢者の認知機能を評価するのはどれか。2つ選べ。

- a BDR
- b MMSE
- c HDS-R
- d Barthel Index

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a BDR は口腔清掃の自立度を評価、判定する。
- b MMSE は認知症のスクリーニングを目的とした評価法で、見当識、短期記憶、計算・注意力、遅延再生、呼称、文章理解、読み書き、図形模写などの11項目で構成されている。
- c HDS-R は年齢、見当識、3単語の即時記憶と遅延再生、計算、数字の逆唱、物品記銘、言語流暢性の9項目からなる30点満点の認知機能検査である。
- × d Barthel Index はADL評価法で、食事、移乗、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、更衣、排便コントロール、排尿コントロールの10項目を、自立、部分介助、全介助の3段階で評価する。

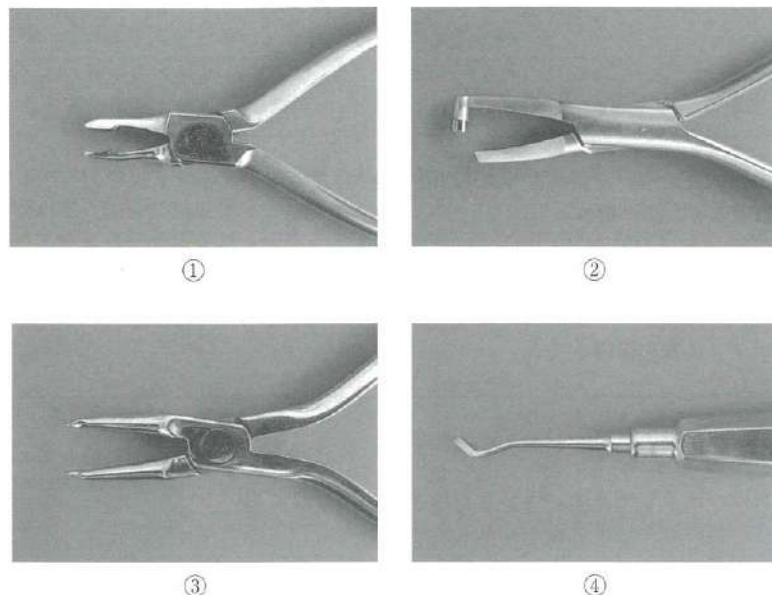
正解 b、c

📖 DH 24:P488

【問題 95】 器具の写真(別冊午後 No.34)を別に示す。  
矯正用バンドの撤去に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

No.34



選択肢考察

- × a ①はバンドコンタリングプライヤーである。バンドの豊隆を調整する際に使用する。
- b ②はバンドリムービングプライヤーである。バンドリムーバー、バンド撤去鉗子、帯環撤去鉗子ともいう。矯正用バンドはリンガルアーチ、Nanceのホールディングアーチの構成要素である。
- × c ③はホウプライヤーである。装置の把持などに使用する。
- × d ④はバンドプッシャーである。歯にバンドを装着する際に使用する。

正解 b

DH24:P863

【問題 96】 成人の心肺蘇生法で1分間の胸骨圧迫の回数はいくつか。1つ選べ。

- a 40
- b 60
- c 80
- d 100

選択肢考察

- d 心肺蘇生法における胸骨圧迫(心臓マッサージ)は、左右乳頭を結んだ線の真ん中に手の付け根を置き、4~5cm程度沈むように圧迫する。肘を真っ直ぐ伸ばし、約100回/分の速さで圧迫をくり返す。1回ごとの圧迫の後しっかり戻すことが大切である。

正解 d

▶ 歯科診療補助

【問題 97】 34歳の女性。歯の変色を主訴として来院した。漂白処置を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.35 A)と薬剤と装置の写真(別冊午後 No.35 B)を別に示す。

漂白処置に使用する薬剤はどれか。1つ選べ。

- a 過酸化尿素
- b 過酸化水素
- c シュウ酸カリウム
- d 過ホウ酸ナトリウム

▶ 歯科診療補助

No.35 A



B



選択肢考察

- a 写真はカスタムトレーを使用したホームブリーチ法を示す。薬剤として10%過酸化尿素ゲルを使用する。
- × b、× d 過酸化水素と過ホウ酸ナトリウムは、失活菌に対する漂白法のウォーキングブリーチ法に用いる。薬剤は高濃度(30%以上)過酸化水素水と過ホウ酸ナトリウムをペースト状に練和して、緊密に根管充填した髄腔内へ充填し仮封する。薬剤は約1週間ごとに交換し複数回処置を行う。漂白終了1~2週間経過後に仮封部をコンポジットレジンにて修復する。
- × c シュウ酸カリウムは象牙質知覚過敏処置に用いる。

正解 a

DH24:P306

【問題 98】 45歳の男性。下顎左側第一大臼歯の咬合痛を主訴として来院した。ラバーダム装着時の口腔内写真(別冊午後 No.36)を別に示す。

この状態で起こるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯冠破折
- b 薬液の漏出
- c 隣接歯の損傷
- d 施術野の汚染

▶ 歯科診療補助

No.36



選択肢考察

- × a クランプは確実に保持されており、この状態で歯冠破折は起こらない。
- b クランプの翼部にラバーダムシートが掛ったままの状態であり、シートが患歯の歯頸部に圧着していない。薬液が口腔内に漏洩する可能性がある。
- × c クランプ自体の装着に問題なく、隣接歯の損傷は考えられない。
- d シートが歯頸部に圧着されておらず、クランプ翼部の穴が口腔内と交通している。唾液がラバーシート上や根管内に流れ込む可能性があり、ラバーダム防湿本来の目的が達成されない。

正解 b、d

[問題 99] 修復物の写真(別冊午後 No.37)を別に示す。  
合着時に使用する器具はどれか。2つ選べ。

- a 光照射器
- b シェードガイド
- c ラバーダムクランプ
- d フェリアーのセパレーター

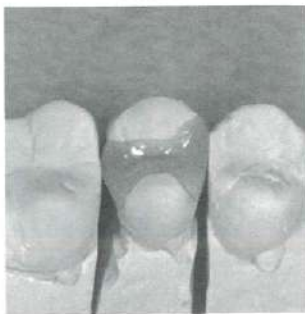
選択肢考察

- a コンポジットレジンインレー合着の際は、まずエナメル質、象牙質窩壁に対する接着前処理を行い、窩洞にレジンセメントを塗布する。インレー内面にはシランカップリング処理を行い、窩洞に挿入して、最終的にすべてを重合させる。光照射器は、レジンセメントやボンディング材を重合させるために必要である。
- × b シェードテイキングは、印象採得時に行う。
- c ラバーダムによって術野を防湿することは確実な接着を得るために重要である。
- × d コンタクトポイントの調整時に歯間を離開する必要はない。

正解 a, c

▶ 歯科診療補助

No.37



[問題 100] 乳歯への処置と使用器具の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 根管充填 ————— スプレッター
- b 乳歯既製冠修復 ————— Young のプライヤー
- c 生活歯髄切断法 ————— ラウンドバー
- d コンポジットレジン冠修復 ————— 金冠バサミ

選択肢考察

- × a 乳歯の根管充填では水酸化カルシウム製剤を用いるため、スプレッターは不要である。
- × b 乳歯既製冠修復では、ゴードンのプライヤー等を用いる。
- c 生活歯髄切断ではラウンドバーを用いて根管口部で歯髄を切断する。
- d コンポジットレジン冠修復では、金冠バサミを用いてクラウンフォームの調整を行う。

正解 c, d

▶ 歯科診療補助

[問題 101] 歯周外科に使用する器具(別冊午後 No.38)を別に示す。  
新付着術(ENAP)に用いるのはどれか。2つ選べ。

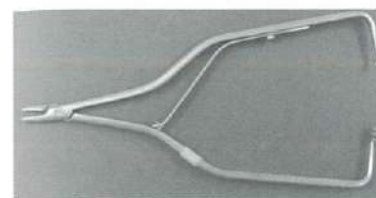
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.38



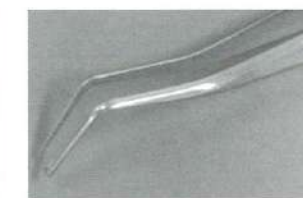
①



②



③



④

選択肢考察

- × a ①はカーランドメスである。歯肉切除術の歯肉外斜切開などに使用する。
- b ②は持針器である。縫合時に使用する。
- × c ③はコーンのプライヤーである。GTR膜の把持に使用する。
- d ④はクリーン-カプランのポケットマーカで、ポケット底の印記に使用する。歯肉切除術や新付着術で用いる。

正解 b, d

[問題 102] 嘔吐反射の強い患者への上下顎印象採得で適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 表面麻酔を行う。
- b 上顎から先に行う。
- c フェーラー位で行う。
- d 鼻で呼吸するよう指示する。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 口蓋部や舌根部に表面麻酔を行う。
- × b 下顎より先に行い、反射閾値を下げないようにする。
- × c 座位にて行い、頭部は前屈させる。
- d 鼻呼吸を心がけてもらうよう指示する。

正解 a, d

[問題 103] パノラマエックス線画像(別冊午後 No.39)を別に示す。

前歯部の像が不鮮明となった原因はどれか。1つ選べ。

- a 開口位で撮影した。
- b 撮影中に患者が動いた。
- c 顎骨を左右非対称性に位置付けた。
- d 歯列を断層域よりも前方に位置付けた。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 前歯部は上下の歯が咬合していないが、臼歯部はほぼ咬合している。そのため、開口位で撮影したことが原因ではない。
- × b 患者が動いた場合、動いた場所で画像が不自然に歪む。写真からはそのような場所は認められない。
- × c 左右非対称に位置付けた場合、左右で大きさが異なるが、この問題の写真ではほぼ同じであるため、非対称に位置付けたわけではない。
- d 下顎前歯部が強く不鮮明になっており、この部分のみが断層域からずれているものと考えられる。下顎前歯部は縮小するようにぼやけているため、下顎前歯部の歯列が断層域よりも前方に位置付けられたためと考えられる。

正解 d

[問題 104] 50歳の女性。左側の咀嚼困難を主訴として来院した。クラウンを製作することになった。

印象採得時の口腔内写真(別冊午後 No.40)を別に示す。

印象採得時の留意点はどれか。2つ選べ。

- a 辺縁歯肉を圧排する。
- b シリンジの印象材の温度を確認する。
- c 初期硬化してからトレーを圧接する。
- d シリンジで歯頸部に断続的に注入する。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 辺縁歯肉を圧排し形成限界を明瞭に印象する。
- b 火傷ないようにシリンジの印象材の温度を確認する。
- × c 印象材の流動性のあるうちにトレーを圧接する。
- × d シリンジで歯頸部に断続的に注入すると接続部に気泡が入りやすい。

正解 a, b

DH24:P784

No.39



No.40



[問題 105] 器具の写真(別冊午後 No.41)を別に示す。

この器具を使用する窩洞はどれか。1つ選べ。

- a 1 級
- b 2 級
- c 3 級
- d 5 級

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 1 級窩洞は小窩裂溝部に位置するもので、セパレーターは必要としない。
- × b 2 級窩洞は臼歯隣接面に位置するもので、エリオット型セパレーターや、トッフルマイヤーのリテーナーなどを用いる。
- c 写真はアイボリー型セパレーターである。前歯の歯間分離に使用されるもので、3 級窩洞が適応である。
- × d 5 級窩洞は歯頸側 1/3 に位置するもので、サービカルマトリックスなどを用いる。

正解 c

DH24:P799

No.41



[問題 106] 右片麻痺患者の寝衣交換で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 左から脱がせ、右から着せる。
- b 左から脱がせ、左から着せる。
- c 右から脱がせ、右から着せる。
- d 右から脱がせ、左から着せる。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 片麻痺のある患者では、健側から脱衣し、麻痺側から着衣する。

正解 a

【問題 107】 乳歯既製金属冠の装着に際し必要な器具の写真(別冊午後 No.42)を別に示す。この器具の目的はどれか。1つ選べ。

- a 歯頸部の調整
- b 咬合面の調整
- c 既製冠の着脱
- d 冠の高さの調節

選択肢考察

- a 写真はゴードンのプライヤーである。ゴードンのプライヤーは冠縁の調整に用いる。
- × b 咬合面の調整は咬合面調節鉗子を用いる。
- × c 着脱は手指で行う。
- × d 高さの調節は金冠バサミを用いる。

正解 a

DH24:P851

▶ 歯科診療補助  
No.42



【問題 108】 45歳の女性。下顎右側臼歯部欠損のためインプラント治療を希望して来院した。恐怖心が強いいため静脈内鎮静法を併用することになった。使用した機器の写真(別冊午後 No.43)を別に示す。

使用した薬物はどれか。1つ選べ。

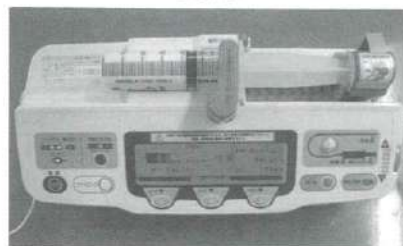
- a 亜酸化窒素
- b リドカイン
- c フェンタニル
- d プロポフォール

選択肢考察

- × a 亜酸化窒素は笑気吸入鎮静法で用いる。
- × b リドカインはアミド型歯科用局所麻酔薬である。
- × c フェンタニルは麻薬性鎮痛薬で、全身麻酔法の際に用いる。
- d プロポフォールは静脈麻酔薬で、静脈内鎮静法や全身麻酔法の際に用いる。

正解 d

▶ 歯科診療補助  
No.43



【問題 109】 41歳の男性。顔面の非対称と話しづらいことを主訴として来院した。昨日、起床時に右側顔面部の異常に気付いたという。初診時の口角挙上時と口唇閉鎖時の顔貌写真(別冊午後 No.44)を別に示す。

発音の際に障害される可能性のある音はどれか。2つ選べ。

- a バ
- b カ
- c パ
- d サ

選択肢考察

- a、c 患者は昨日、右側顔面部の異常に気付き、口角が垂れ下がり口唇も閉鎖できなかったことから、原因不明の末梢性顔面神経麻痺であるベル麻痺と考えられる。寒冷刺激、アレルギー、局所浮腫、ウイルス感染などが関連するとされる。前額部のしわ形成不全、麻痺性兎眼、鼻唇溝消失、口笛不能、多汗、あるいは無汗がみられる。発音の際には両唇音のバ行、パ行、マ行の障害をみる。治療法としては早期に副腎皮質ホルモンを投与するほか、ビタミンB<sub>12</sub>やビタミンE製剤が神経修復の促進に用いられる。

正解 a、c

DH24:P500

▶ 歯科診療補助  
No.44



口角挙上時



口唇閉鎖時

【問題 110】 86歳の女性。食事に時間がかかることを主訴としてグループホームの職員から訪問歯科診療の依頼があった。半年前に脳梗塞を発症したという。日常生活に支障をきたすような運動障害は認められなかったが、医療面接時に一部聞き取りにくい単語を認めた。診断の結果、ある訓練を行うことになった。訓練中の写真(別冊午後 No.45)を別に示す。

この訓練の目的はどれか。2つ選べ。

- a 呼吸機能の改善
- b 食道入口部の開大
- c 声門閉鎖機能の改善
- d 鼻咽腔閉鎖不全の改善

選択肢考察

- a、○ d 写真はブローイング訓練を示す。鼻咽腔閉鎖不全により水分、食物が鼻咽腔へ逆流する場合や呼吸機能低下がある場合に行われる。吹く動作(口腔気流)により鼻咽腔が反射的に閉鎖されることを利用して、鼻咽腔閉鎖に関わる神経・筋群の機能改善を目的としている。
- × b 食道入口部の開大を目的とするのは頭部挙上訓練や開口訓練、バルーン拡張法などである。
- × c 声門閉鎖機能の改善を目的とするのはプッシング・プリンク訓練などである。

正解 a、d

▶ 歯科診療補助  
No.45

